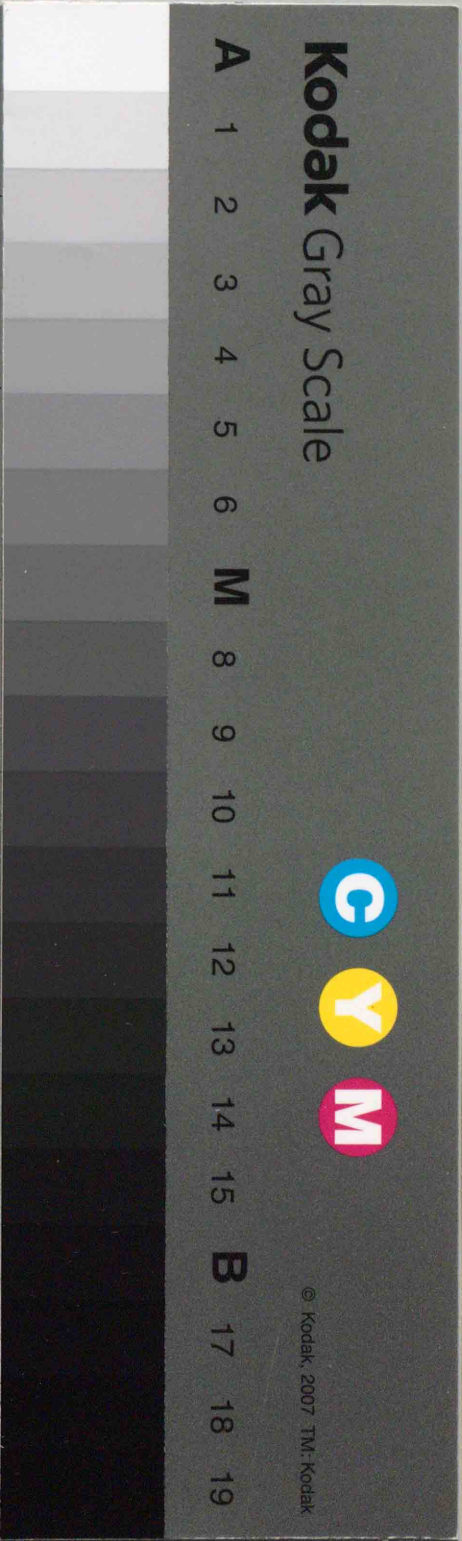
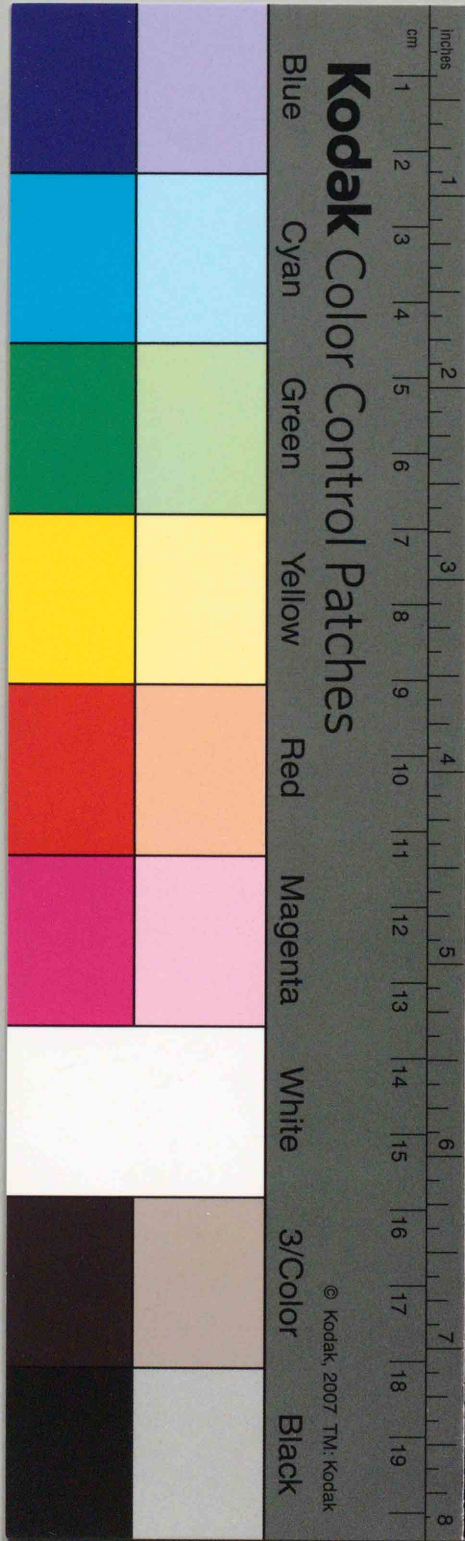
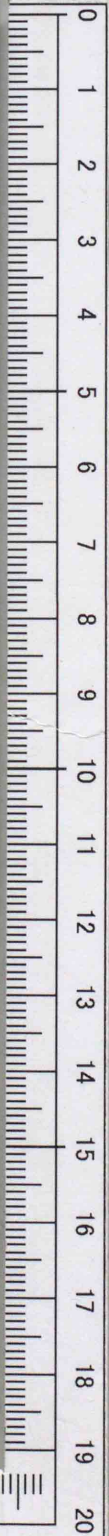


教科書文庫
4
290
32-1920
2000015390

高等小學地理書卷一

兒童用

文部省



42769

教科書文庫

4
290
32-1920
20000 15390

7-2
42



教科書文庫

4

290

32-1920

2000015390

資料室

375.9
M014



高等小學地理書卷一

兒童用

文部省

広島大学図書

2000015390



書大廣



目錄

第一	亞細亞洲	一
	一 總論	一
	二 支那	七三
	三 西比利亞	二五五
	四 中亞細亞	二一九
	五 西部亞細亞	二一九
	六 イラン地方	三二七
	七 印度	三二八
	八 印度支那	三三六
	九 馬來諸島	四十
第二	大洋洲	四十二
	一 濠洲	四十三
	二 本洲の諸島	四十六
第三	歐羅巴洲	五十
	一 總論	五十
	二 東部歐羅巴(露西亞・フィンランド・ポーランド)	五十六
	三 瑞典・挪威	六十三
	四 獨逸	六十三
	五 埃地利・洪牙利・チエッコ・スロバキヤ	六十六
	六 瑞西	六十九
	七 佛蘭西	七十
	八 白耳義・和蘭	七十四
	九 英吉利	七十七
	十 西班牙・葡萄牙	八十一
	十一 伊太利	八十三
	十二 バルカン半島諸國	八十六
第四	阿弗利加洲	八十九
第五	北亞米利加洲	九十八
	一 總論	九十八
	二 加奈陀	百三
	三 亞米利加合衆國	百六
	四 墨西哥・中央亞米利加諸國・西印度諸島	百十一
第六	南亞米利加洲	百十四

高等小學地理書 卷一 兒童用

第一 亞細亞洲

一 總論

位置・面積

亞細亞洲は東半球の北部にあり。北は北極海に、東は太平洋に、南は印度洋に臨み、西は歐羅巴に續き、又僅にスエズ地峽によりて阿弗利加に連る。本洲は其の面積世界陸地の約三分の一を占め、六大洲中最も大なるものなり。

地勢

本洲は太平洋及び印度洋の方面に於て、海岸線の出入甚だ著し。太平洋方面にはカムチカ半島・朝鮮半島・印度支那半島等あり。其の近海には日本列島・馬來諸島等ありて、オホーツク海・日本海・東支那海・南支那海等を限る。印度洋方面には



南に走れるヒマラヤ山脈は最も雄大にして、脈中にはエベ

印度半島の突出せるあり。又此の半島の西北には亞刺比亞半島ありて、阿弗利加との間に紅海を挟む。

ミ本洲の中央部は土地一般に甚ルだ高くして、山脈にも高原にも高大なるもの多く、これと海岸と原の間には所々に大低地あり。山脈の主なるものは、パミル高原を中心として四方に走り、本洲主要の分水嶺をなす。中にも東

高地一

高地一

レスト山を始め、世界屈指の高峯多し。ヒマラヤ山脈の北に崑崙山脈あり、パミル高原より東に向ひて、遠く太平洋岸に迫る。是等兩山脈の間には西藏高原あり、崑崙山脈の北には蒙古高原あり。パミル高原より東北に向ふ山脈に天山山脈あり。アルタイ其の他の諸山脈これと相連りて、ペーリング海峽に及ぶ。又パミル高原より西南に向ふものにヒンヅークシ山脈あり、イラン高原の北部を走りて小亞細亞に至る。大河も亦多くは中央部に源を發して四方に流る。中にも黄河、揚子江は支那平野を流れ、黒龍江は西比利亞の東部を流れて、同じく太平洋に入り、ガンジス、インダスの兩河は、印度平野を流れて印度洋に入る。又オビ、エニセー等の諸河は、西比利亞の低地を流れて北極海に注ぐ。

氣候

印度・亞刺比亞の兩半島は各高原をなし、亞刺比亞高原はイラン高原との間にメソポタミヤ平野を挾む。此の平野を灌流するはチグリス・ユーフラテスの兩河なり。西藏・蒙古の高原、中亞細亞の低地には、大小數多の湖水ありて、諸川これに注ぐ。

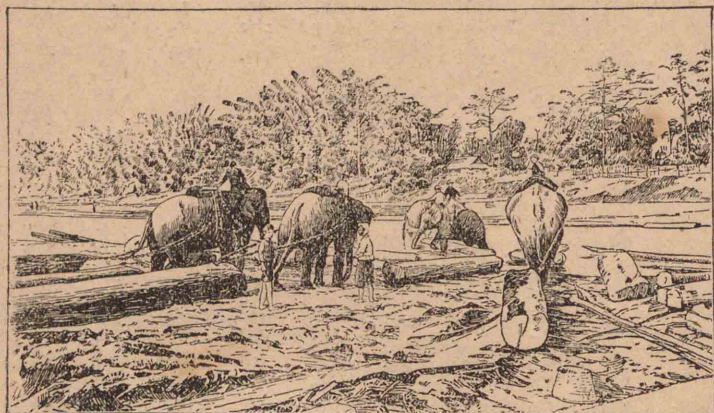
本洲は土地廣く、地勢複雑なるが故に、各地の氣候一樣ならず。中央部の高地及び西比利亞の低地は、寒暑の差殊に甚だしく、西比利亞の低地には世界の最寒地と稱せらるゝ所あり。北部・中央部・西南部は概して降雨に乏しくして、地味やせ、沙漠・草地廣く連れども、東南沿海の地方は一般に氣候温和にして、地味肥え、ヒマラヤ山脈の東南側と共に降雨多くして、植物の生育に適す。

高地一

高地一

生物・産物

生物は大いに氣候の影響を受けて、所により其の趣を異にする。南部より東南部にかけては植物の成長盛にして、椰子樹がじま



象の木の材運搬

る・チーク等の熱帶樹木に富み、又米・茶等の農産物の額多し。此の地方の動物には象・猩々・鱷・孔雀等あり。中部の草地にては馬・駱駝・羊等の牧養行はる。これより北方に至るに隨ひ、生物次第に種類を減じ、極北部には僅に矮小なる樹木及び苔の類生じ、馴鹿・白熊等すめる

に過ぎず。

住民

住民は其の數九億に近くして、世界人口の過半を占め、多くは東部及び南部に住す。住民の中、亞細亞人種最も多く、主として東部に住し、又中央部に住するものも少からず。歐羅巴人種は之に次ぎ、印度半島及び其の以西に住す。馬來人種は其の數遙に少く、馬來諸島を主なる住地とす。

宗教

本洲に行はるゝ宗教は、其の主なるものを佛教・印度教・マホメット教・基督教とす。佛教は主として東部に行はれて、其の信徒甚だ多く、印度教は印度に、マホメット教は西部に盛なり。基督教は廣く各地に信徒を有すれども、其の數多からず。是等の宗教は何れも本洲に起りて、世界の大宗教となりたるものなり。

區分

本洲の獨立國には我が國・支那を除くの外に、暹羅・波斯等あ

高地一

高地一

れども、其の國勢甚だ振はず。是等獨立國以外の大部は歐米諸國の領土にして、英領印度・佛領印度・支那・蘭領印度・米領フィリピンは南部又は東南部にあり。又露西亞領は北部より西部に亘りて、本洲面積の三分の一以上を占む。

二 支那

支那は其の面積約七十一萬方里ありて本洲の四分の一、我が國の十六倍に當り、人口は世界總數の五分の一に及ぶ。

地勢

支那の大部は、山脈・高原ありて産業盛ならず。されど黄河・揚子江等の下流地方には支那平野あり、又其の南には珠江流域の平野、北には滿洲平野ありて、農業行はる。殊に支那平野は古來此の國の主要部をなし、中に都邑甚だ多し。海岸は渤海灣の遼東・山東の二半島に抱かるゝ外、大いなる出入なく、

交通

出し、我が國よりは綿織物・綿絲・砂糖・石炭・銅・水産物・マツチ等を輸入す。

高原地方は一般に交通不便なれども、支那平野は水路・鐵道の便多し。殊に水路は揚子江の川筋に於て最も發達し、其の本流の河口より宜昌しやうに至るまで、約四百五十里の間は汽船を通じ、殊に漢口以下約二百八十里の間は、海洋を交通する大汽船も自由に之を上下す。有名なる大運河は揚子江・黄河等の下流を貫きて南北に通ず。其の長さ三百里に餘る。今尙交通上其の價値なきにあらず。

支那に於ける鐵道は年と共に延長して、支那本部・滿洲には數多の線路を見るに至れり。中にも京漢線と津浦線とは、各京奉線と相連りて幹線をなし、支那平野を南北に走る。漢口

高地一

高地一

住民



支那人婦と一輪車

より廣東に至る鐵道全通せば、京漢線と連絡して、支那本部を南北に縦貫すべし。滿洲には我が南滿洲鐵道の本線南北に通じ、長春にては東支鐵道に連絡し、奉天にては京奉線及び支線の安奉線と連絡して、世界交通の幹線をなす。海運も漸く盛になりたれども、支那人の自ら經營するものは尙多からず。

住民は其の數約三億五千萬に上り、中に漢族・滿洲族・蒙古族・西藏族等數多の種族あり。其の最も多數を占むるは漢族な

政治

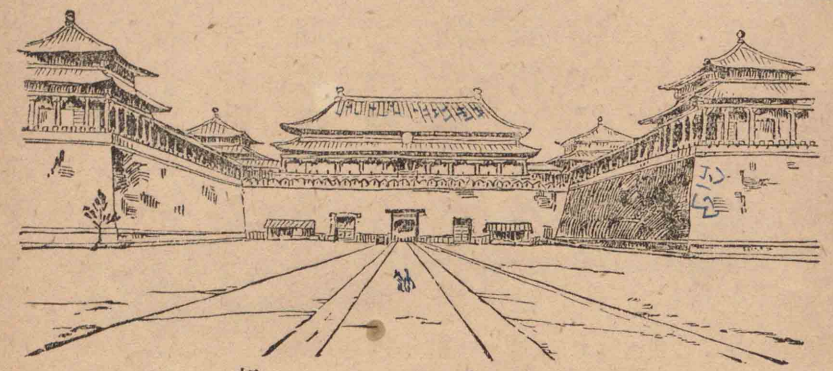
り。漢族及び滿洲族の多くは支那本部滿洲に住す。漢族は又海外に移住せるもの少からず。其の性質勤勉にして商業に長ず。此の種族の女子は纏足をなし、男子は滿洲族と同じく辮髪をなすの風習ありしが、近時其の風を改めたり。蒙古族は概ね蒙古に、西藏族は概ね西藏に住す。支那は教育未だ普及せざれども、近時漸く先進國に倣ひて各種の學校を設立し、又多數の留學生を諸外國に送りて、教育の進歩に努む。

支那は古來君主專制なりしが、十年前清朝亡びてより、共和政體に改まりて大統領を戴く。中央政府には國務院、外交部、内務部、財政部、陸軍部、海軍部、教育部、司法部、農商部、交通部等あり。國會は參議院と衆議院とより成る。行政上全國を分ちて、支那本部(京兆及び十八省、川邊特別區域、滿洲(三省)、新疆(一

高地一

高地一

支那本部
北部



北京の城内の一

省)及び内蒙古、外蒙古、青海、西藏となし。各省には省長、督軍を置き、其の他にはそれ〴〵特別の官吏を駐在せしむ。

支那本部は地勢上、北・中・南の三部に分たる。北部は黄河、白河等の流域に屬し、國內にて最も早く開けたる地方なり。北京は此の國の首府にして、白河の流域に位す。市街は内城、外城の二部に分れ、内城には舊皇城、官衙あり、外城には商店多し。天津は白河の河口より十數里の上流に臨みて、水陸交通の要地をなし、北部第一の貿易港たり。其の東北

北支那
奉天
滿洲
漢口

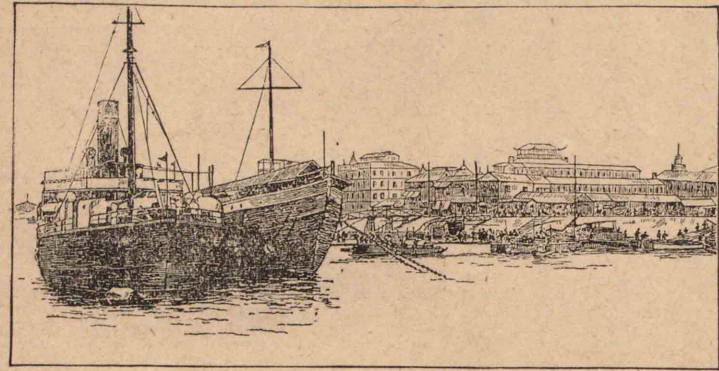
に開平の炭坑あり、芝罘は山東半島の北岸に位する港市にして、其の東にある威海衛は英吉利の租借せる港なり。又此の半島の南岸には膠州灣あり。獨逸はもと此の灣の沿岸地方を租借して、こゝに青島の港市を開き、又青島と濟南との間に山東鐵道を敷設して之を經營し、其の沿線地方にて石炭・鐵礦等を採掘するなど、大いに勢力を伸ばせしが、世界大戰の結果、我が國は是等獨逸の利權全部を收めたり。

黄河の流域には河南(古の洛陽)・西安(古の長安)等歴史上名高き都會多し。中にも西安は古來交通上の要地に當りて、一大都會をなせり。萬里長城は遼東灣の西岸に起り、略支那本部の北邊に沿ひて西方に走ること凡そ八百里、大運河と共に支那古代の二大工事として有名なり。

高地一

中部

中部は主として揚子江の流域に屬し、産業上支那國中、最も

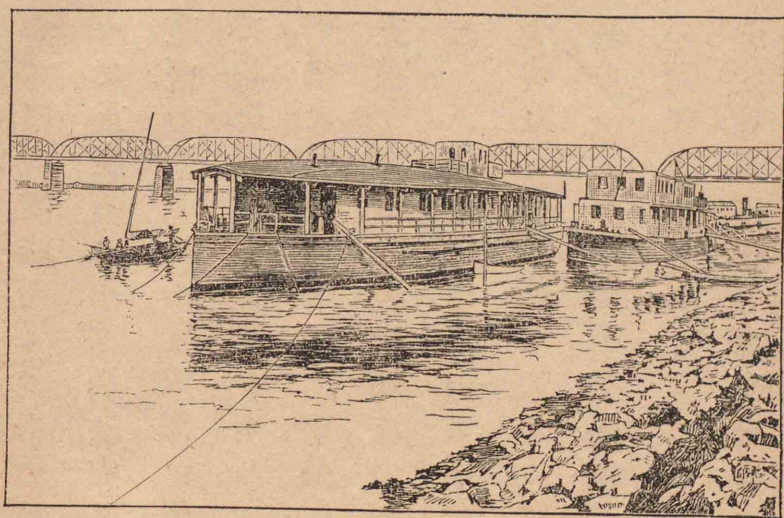


南京の埠頭

重要なる部分にして、繁盛なる都會多し。揚子江の河口に近き上海は此の國第一の貿易港にして、生絲・絹織物・綿茶を輸出し、綿絲・綿織物・阿片を輸入する額多し。又近時綿絲紡績其の他の工業も發達す。上海の西に蘇州あり、西南に杭州あり。何れも絹織物の産地として知らる。蘇州の西北、揚子江の下流に臨みて江寧あり、一に南京と稱せらる。此の地は史上に名高き所にして、古來政治上の一中心地たり。

高地一

地勢



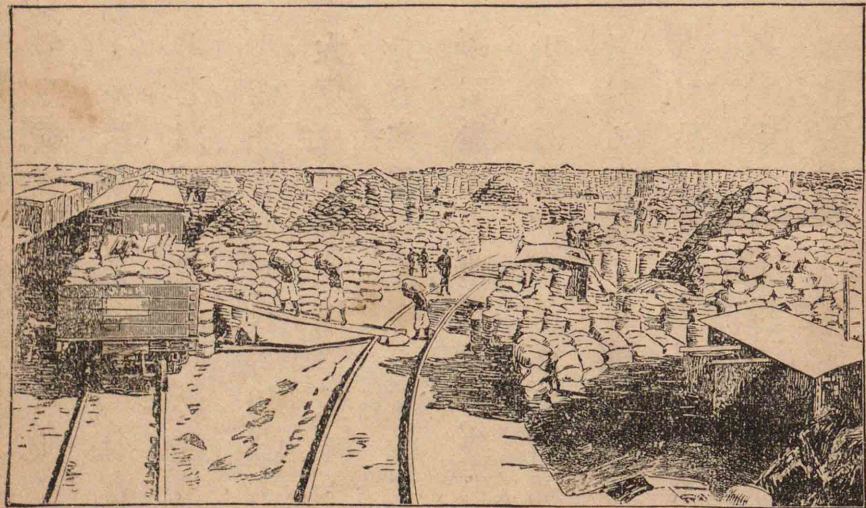
松花江の運水(賓爾哈)

分たれ、東三省巡閱使これを總轄す。面積は六萬餘方里あれども、人口は二千萬に及ばず。我が國の租借地たる關東州は遼東半島の南部を占む。滿洲は西部より北部にかけて興安嶺あり、東部に長白山脈其の他の山脈ありて、三方山地をめぐらせども、南は開けて海に面す。中央部は滿洲平野と稱せらる、低き大平野にして、小高き丘陵によりて、北の松花江流域と南の遼

高地一

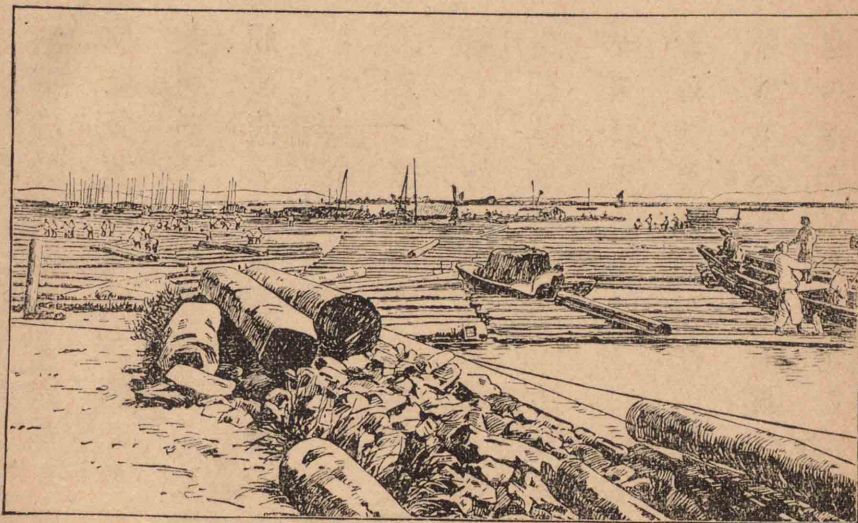
産業

河流域とに分たる。松花江・遼河は各、其の流域を潤して農業を助くるのみならず、又交通の便を與ふること少からず。滿洲は其の位置・地勢等の關係により、亞細亞内地の影響を受くること多くして、寒暑の差大なれども、春より夏にかけて気温高ければ、地味の肥沃なる所には、農業よく行はれ、遼河流域にては高粱・大



長春に於ける大豆の野積み

高地一



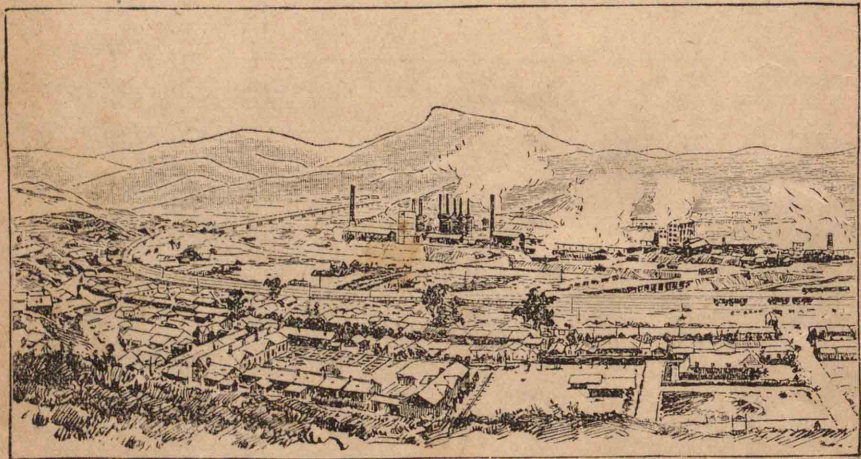
安東の鴨綠江岸に於ける材着

豆・玉蜀黍を、松花江流域にては麥類・粟・麻等を産すること多し。高粱は住民の常食物にして、酒の原料にも用ひられ、大豆は豆粕・豆油の原料としても亦重んぜらる。豆粕・豆油の製造は大連を始め、營口・奉天等各地に行はれて、滿洲に於ける工業の首位を占め、其の製品は大豆と共に滿洲の最も重要な輸出品となり、盛に大連・營口等より積出さ

高地一

高地一

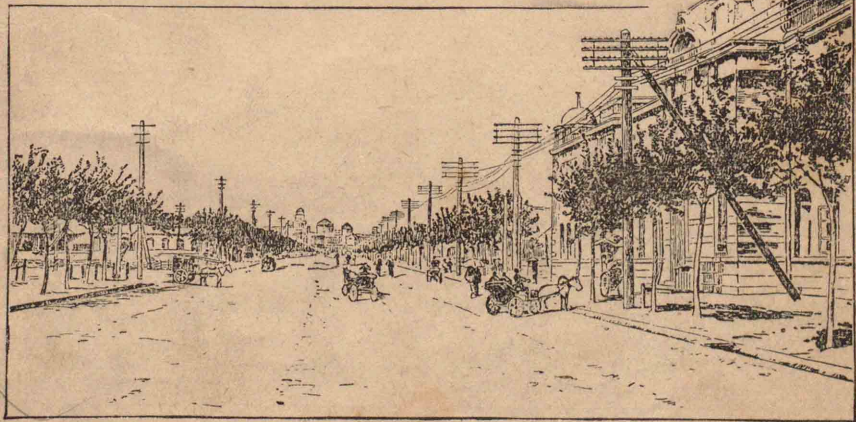
る。なほ哈爾賓・鐵嶺等にては麥粉の製造行はる。牧畜は馬・牛・豚の飼養を主として廣く行はれ、柞蠶業は南部に盛なり。又東部には廣大なる森林ありて、鴨綠江上流地方のものは、日支人協同して盛に之を採伐し、江を下して多くは安東に送る。随つて安東にては木材の取引、製材の業甚だ盛なり。礦物には石炭・鐵の外、金・銀等あり。石炭は撫順・本溪湖・煙臺を主産地とす。殊に撫



本溪湖に於ける製鐵所

交通

順の炭田は其の區域の廣きと、炭層の厚きとを以て名高く、近時年々約四百萬噸の石炭を出す。本溪湖・鞍山には製鐵所ありて、附近に産する鐵鑛を製鍊す。滿洲は雨量少く、夏季氣温高ければ、雙島灣・貔子窩等所々の海濱には塩田を設け、天日にて塩を製す。又近海には水産の利少からず。滿洲はもと交通一般に不便にして、開發遅れたりしが、今や南滿洲鐵道を始め京奉線・東支鐵道等の



街市人本日の天奉

高地一

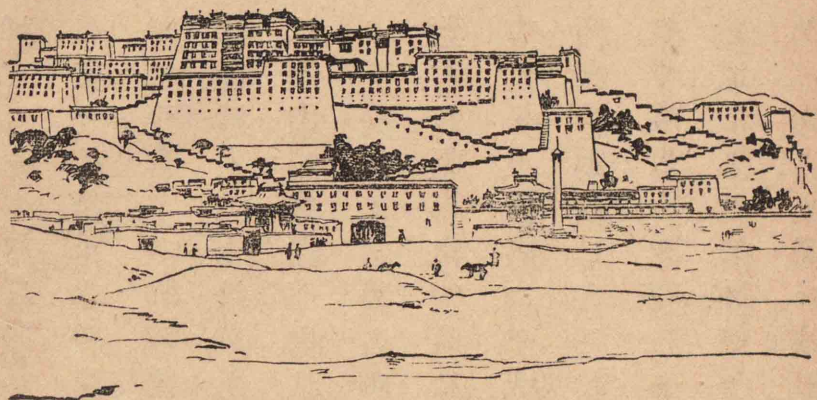
高地一

蒙古・新疆・青海・西藏

通ずるありて、開發の利便を與ふるが故に、沿線の産業大いに興り、都邑も亦發達し、大連・營口・安東等の貿易も亦隆盛なるに至れり。我が國人の滿洲に在留せるものは、内地人五萬餘、朝鮮人二十餘萬あり。朝鮮人は多く間島にありて、農場又は鑛山に勞働し、内地人は主として南滿洲鐵道の沿線にありて、交通・産業等各種の事業を經營す。

蒙古・新疆・青海・西藏は支那本部の北より西に互れる高原地方にありて、各面積大なれども、人口少し。住民の多數は蒙古・西藏の兩族にして、牧畜を業とし、佛教の一派なる喇嘛教を信ず。蒙古の北部にある庫倫は、外蒙古の政治・宗教・商業の中心地にして、隊商繁く出入し、又喇嘛教の寺院多し。西藏の中部にある拉薩は宏壯なる喇嘛教大本山のある所なり。喇嘛

沿革



拉薩の喇嘛教殿堂

教の教主は西藏に於ける政治上の
 實權を握れり。
 支那は世界中最も早く開けたる地
 方の一にして、こゝは古來王朝の興
 廢繁く、國號屢變じたり。今より凡そ
 三百四十年前、清朝は滿洲より興り
 て、全國を一統し、國勢久しく盛なり
 しも、凡そ八十年前、英吉利と戦ひて
 香港を失ひ、其の後東北境の地を露
 西亞に割き、明治二十七八年戦役に
 て臺灣を我に譲り、次いで海岸の諸
 要地を諸強國の租借地となせり。其

高地一

高地一

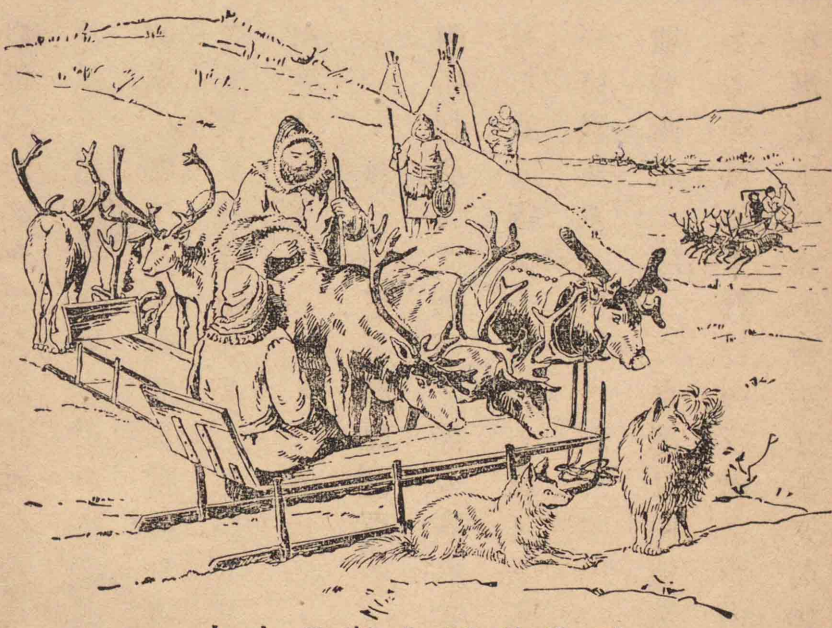
の後我が國及び西洋諸國の制度に倣ひて種々の改革を行
 ひ、以て國運の發展を計りしが、其の甲斐なく、國內亂れて清
 朝遂に亡び、共和政體に改まれり。我が國は支那と國土相接
 して、古來關係頗る深し。しかも其の關係は今後益々密接なら
 んとす。

三 西比利亞

西比利亞は亞細亞北部の廣大なる地域を占む。其の面積は
 凡そ我が國の十九倍あれども、人口は凡そ我が國の七分の
 一に過ぎず。

地勢西北に開けて、東部は山地をなし、西部は西比利亞平野
 をなす。此の平野の西にウラル山脈あれども、其の傾斜緩な
 るが故に交通を妨ぐるセムダこと大ならず。西比利亞の北部は殆

位置・面積・
 人口
 地勢・産業

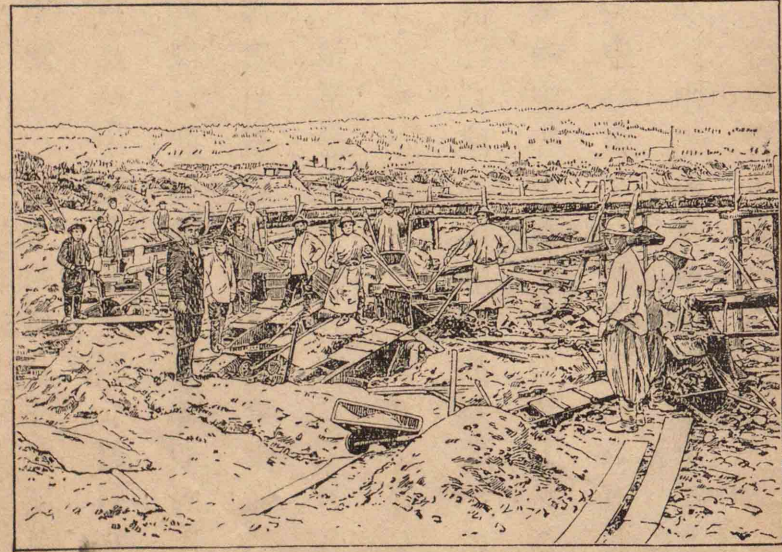


西比利亞北部の人土

ど年中地面凍結して、産業未だ興らざれども、中部以南には、森林・沃野ありて、農業・牧畜・林業等行はる。殊にオビ・エニセー兩河上流地方の平野は、氣候温暖、地味肥沃にして、穀物の産出多ければ、西比利亞の穀倉と稱せられ、又畜産物の産額甚だ多く、トムスク・オムスク・中亞等は其の中心市

高地一

場たり。南部には金銀・石炭等をも出す。バイカル湖の東北にあるボダイボ及び黒龍江の支流なるゼーヤ河流域は、産金地として知らるゝ所なり。又太平洋方面の近海及び沿海の河川には、さけます。たらかに等の好漁場數多ありて、夏季我が國人のこゝに出漁するもの多し。黒龍江の下流に臨めるニコライエフスクの如きは漁業の一中心地たり。



ゼーヤ河流域に於ける砂金の採集

都邑

浦潮斯德は日本海方面にありて、軍港と商港とを兼ね、冬は港内凍結して船舶の出入不便なれども、西比利亞東部中最も重要な地にして、我が敦賀・長崎・小樽等との間に定期航海の便あり。西比利亞の鐵道幹線は此の地を起點とし、西比利亞の南部を通じて、遠く歐羅巴の鐵道に連り、又東支鐵道とも連絡を保てり。其の沿線には都邑多し。其の中にて名高きはブラゴエシチンスク・チタイルクーツク・トムスク等なり。ブラゴエシチンスクは黒龍江に臨み、水陸交通の要地にして、西比利亞東部の政治・商業の中心をなす。イルクーツクは西比利亞中部の政治・交通の中心をなし、又農産物の一大集散地たり。トムスクは西比利亞西部の政治の中心をなし、バタの製造其の他の工業漸く盛に行はる。

高地一

四 中亞細亞・コーカシヤ

中亞細亞

中亞細亞の北部は概ね草地にして牧畜行はれ、オムスクは其の中心都市をなす。南部は概ね沙漠をなせども、河畔には穀物綿等を産す。タシケントは其の中心市場たり。

此の地方は一般に鹹湖多く、中にもコーカシヤとの間にある裏海は世界最大の湖なり。

コーカシヤ

コーカシヤは其の中央に連れるコーカサス山脈によりて、平野多き北部と、丘陵多き南部とに分たる。北部には畜産物、南部には農産物を産し、又裏海に臨めるバクー附近には石油を産す。石油は黒海に臨めるバツームより之を輸出す。

五 西部亞細亞

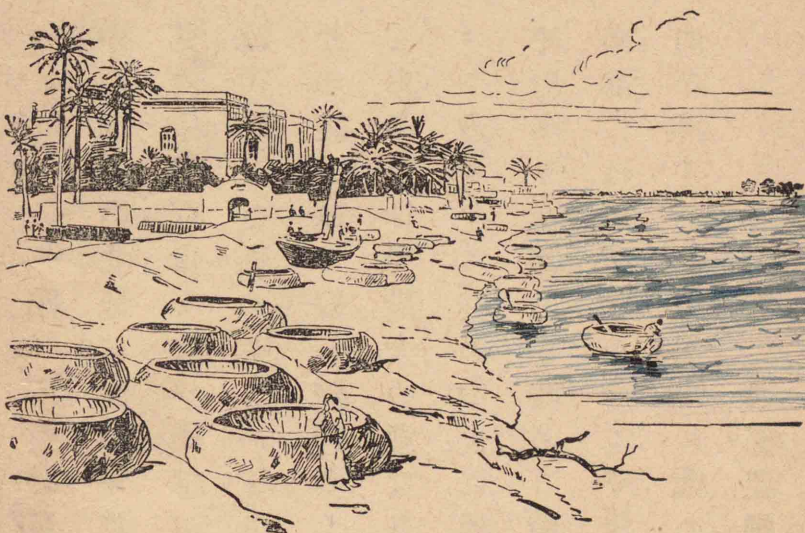
位置・區分

西部亞細亞は小亞細亞・亞刺比亞の二半島と其の附近の地

とを指す。此の地方は從來概ね土耳其領なりしが、世界大戦

の影響により諸地方獨立したれば、今なほ土耳其領たるは小亞細亞の一部のみとなり。獨立したる地方は概ね英佛等の勢力の下にあり。西部亞細亞の北部にはアルメニヤ・小亞細亞の高原あり、南部には亞刺比亞の高原あり。是等高原の内地は雨極めて少きが故に、土地荒れて産業盛ならず。中にも亞刺比亞

地勢・産業



船渡と河スリグチ

高地一
高地一

都邑

高原の如きは概ね沙漠をなし、住民は所々に小部落を作りて酋長を戴き、多くは遊牧を業とせり。是等南北兩部の高原の間にあるメソポタミヤ平野は、チグリス・ユーフラテス兩河の流域に屬し、太古早く開けし所にして、今や英吉利の勢力の下にありて、河畔の地には漸次開拓の業進歩せり。バグダード鐵道は世界交通の一幹線をなし、バグダードは政治・交通・産業の中心をなす。

小亞細亞半島の東南、地中海に面する地方は、亦太古早く開けし所なり。其の海岸に近き高地にエルサレムあり、基督の墓あるを以て名高く、又新に興れる猶太國の首府たり。紅海方面にあるメヂナは、ヘヂヤス國の主なる都會にして、マホメットの墓あるを以て知らる。紅海の入口に近きアデンは、英領

にして、交通・軍事の要地なり。

六 イラン地方

イラン地方は波斯・アフガニスタン・ベルチスタンの三部に分たる。波斯及びアフガニスタンは獨立國なれども、近時は主として英國の勢力の下にあり。而してベルチスタンは全部殆ど英吉利に屬す。

此の地方は一般に高原をなし、内地は雨少くして沙漠多く、産業随つて盛ならず。波斯の首府はテヘランといふ。アフガニスタンのカブール・ヘラトは交通・軍事の要地なり。

七 印度

印度は印度半島と其の附近の地とを占め、其の面積は我が國の約七倍、人口は我が約四倍ありて、英國の海外領土中、最

波斯・アフ
ガニスタン
ベルチスタ

位置・面積・
人口

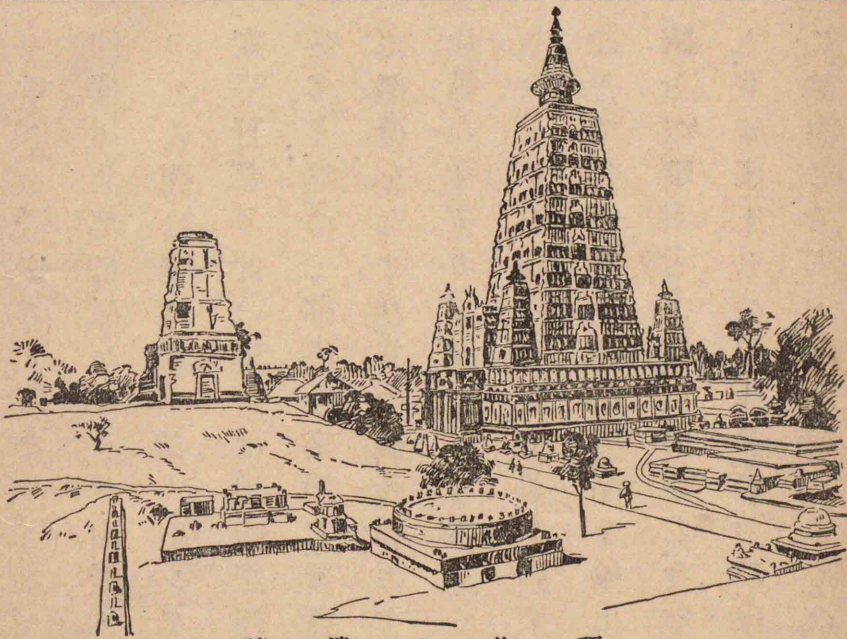
高地一

地勢・産業

も重きを置かるゝ所なり。

印度の北部にはヒマラヤ山脈あり、南部にはデカン高原あり。其の間は概ねガンジス・インダス兩河の流域に屬する印度平野なり。此の平野は地味肥沃にして、農産物を産する處と多く、随つて都邑も交通も發達し、古來印度の最も重要な部分をなせり。其の農産物の主なるものは、米・麥・綿・茶・麻・阿片等なり。デカン高原にも亦多く綿を産し、半島の南端に近きセーロン島には多く茶を産す。印度の外國貿易は頗る盛にして、食料品・工業原料品を輸出して、加工品を輸入す。我が國との取引も次第に増加し、我が國へは主として綿を輸出し、我が國よりは綿製品・羽二重・マツチ・鐵・銅を輸入す。我が國に輸出せらるゝ印度綿は、多くはボンベールより積出され、我

都邑



釋迦の遺蹟

が國にては綿絲の原料に用ひらる。我が綿絲紡績業は主としてこれによりて發達せるなり。ガンジス河の下流地方にカルカタあり。此の地は水陸交通の要地にして、貿易盛に行はる。もとは英領印度の首府たりし所なり。我が國の汽船も此の地に定期航路を開けり。ガンジス河の中

高地一

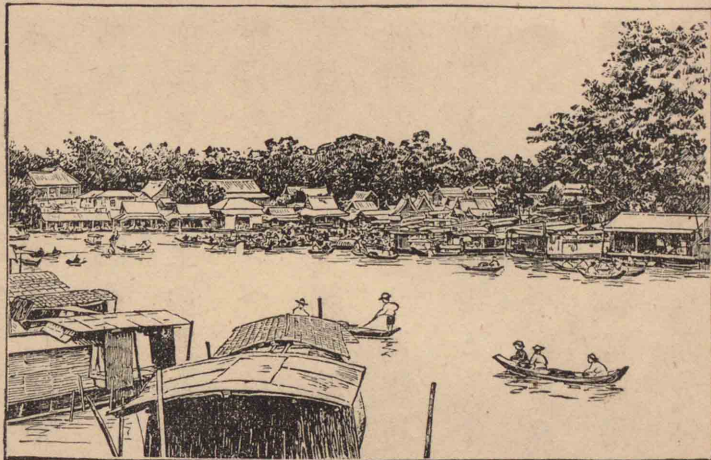
高地一

流に臨みてベナレスあり、印度教の靈地として著る。其の東方のガヤは近傍に釋迦の遺蹟あるを以て名あり。ガンジス河の上流に臨みてデリーあり。此の地は英領印度の首府にして、内地商業の盛なる所なり。デリーの西南、亞刺比亞海岸にあるボンベーは、カルカタと並び稱せらる。印度の大貿易港にして、綿の輸出甚だ多く我が國との間にも、定期に汽船の往來ありて、貿易益、盛なり。印度の東南岸にあるマドラスも亦貿易港として名あり。セーロン島のコロンボは、印度洋交通の要路に當り、茶を輸出すること多し。我が歐洲航路の汽船もこゝに寄港するを常とす。

沿革

印度は文化夙に開け、佛教の開祖釋迦の出生地として有名なり。四百二三十年前、葡萄牙人の來航せし以來、歐羅巴諸國

位置・氣候
地勢・產物



（地の近附谷盤）活生上水るけ於に部南東亞細亞

より印度に來るもの多く、中にも英吉利人最も勢力を得て、遂に其の政權を握り、以て今日に及べり。

八 印度支那

印度支那は印度支那半島の地にして、其の南に延びたる所を馬來半島とす。此の地方の氣候は熱帶性にして、季節は乾濕の二季に分る。域内には印度支那山系と稱せらるゝ數條の山脈略、南北に連り、メナム・メーコン・イラワヂー等の諸河、其の間を南流して、交通の便を與ふ。又

高地一

高地一

是等諸川の流域には地味の肥沃なる平野開けて米を産すること多く、下流に臨めるサイゴン・盤谷・ラングーン等の諸港より盛にこれを輸出す。我が國の汽船も、近年是等の港に航路を開きて、交通貿易す。我が國にて外米と稱せらるゝは概ね此の地方の産なり。又此の地方の山地より平野にかけては、チーク其の他の良材を産すること多し。

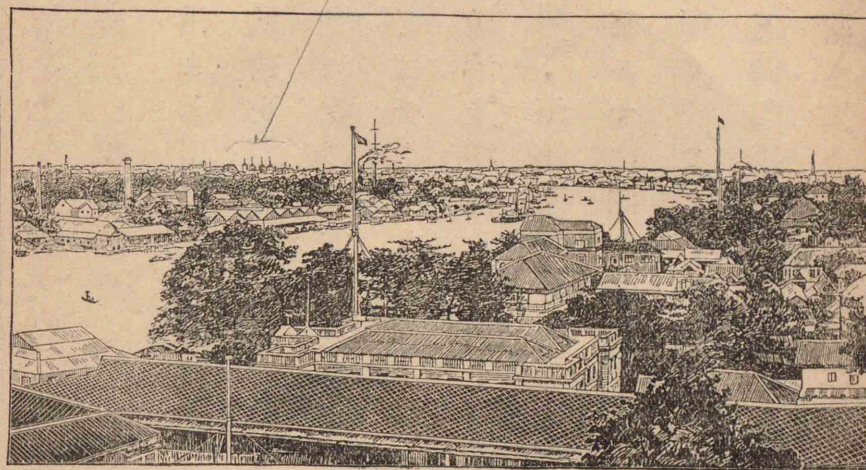
政治上域内を分ちて、ビルマ・暹羅・佛領印度支那・馬來聯邦國英國の保護國・海峽殖民地等とす。

區分

ビルマ

ビルマは印度支那半島の西部を占む。此の地方はもと一の獨立國なりしが、英國の侵略を受けて其の領土となり、今や英領印度の一部をなす。北部の山地は雨量極めて多くして、樹木繁茂し、南部の平野は米産に富む。ラングーンは水陸交

暹羅



盤谷の市街

通の要地に當り、米の集散甚だ盛なり。
 暹羅は面積殆ど我が國と等しけれども、人口は約九百萬に過ぎず。首府盤谷は此の國の門戸をなし、米・木材等を輸出する處と多し。
 此の國は我が徳川時代の初に當りて、山田長政の武勇を現せし所なり。今は專制王國にして、先進國の文明に倣ひて國政の改良を圖り、産業の發達を期す。

高地一
高地一

佛領印度支那

海峽殖民地
馬來聯邦

我が國とは親交を結び、彼我の交通・貿易漸次發展す。
 佛領印度支那は、中部に山地多けれども、南及び北の一部に平野あり。北部の平野にある首府ハノイは交通の要地にして、こゝより支那の南部に通ずる鐵道あり。南部の平野にあるサイゴンは商港と軍港とを兼ね、多く米を輸出す。佛領印度支那の地には、もと安南・カンボヂヤ等の獨立國ありしが、佛國は之を其の領土となし、開發に努む。現今佛國の殖民地中、此の地方は最も重要なるものなり。
 海峽殖民地は馬來半島の南部にありて、英吉利に屬し、ゴム・コブラ・錫等を産す。首府シンガポールは東西交通の要地に當り、貿易甚だ盛にして市況繁盛なり。海峽殖民地及び馬來聯邦には我が國人のゴム栽培に従事せるもの少からず。

九 馬來諸島

位置

馬來諸島は亞細亞洲の東南部にありて、大小無數の島嶼より成る。中にも最も大なるはボルネオ島にして、最も開けたるはジワ島・ルソン島なり。

氣候・産物

馬來諸島は熱帯中にありども、海洋の影響によりて暑氣大いに和らげられ、又季節の變化著し



馬來諸島に於ける細籐工

高地一

區分・各地

からず。其の氣候・地味よく植物の發育に適するが故に、森林多く、又農産物豊にして、甘蔗・米・茶・コブラ・マニラ麻・煙草・ゴム・珈琲・香料・籐等の産額多し、又所々に石油・錫を産す。

馬來諸島の中、ボルネオ島の北部が英吉利に屬し、フリピン群島が亞米利加合衆國に屬する外は、概ね和蘭の領土なり。ジワ島は蘭領印度中最も開けたる所にして、農産物多く、其の北岸にある首府バタビヤよりは、砂糖・珈琲などを輸出すること甚だ多し。バタビヤの東方にサマラン・スラバヤ等の貿易港あり。ジワの外、蘭領印度の中には、スマトラ島・セレベス島・蘭領ボルネオ等あり。セレベス島はコブラを産し、蘭領ボルネオ・スマトラ島は石油を出す。英領ボルネオにも亦石油・石炭の産出あり。フリピン群島は、もと西班牙に屬せしが、

今より約二十年前、亞米利加合衆國の領土となれり。此の群島中、ルソン島は殊によく開け、西海岸にある首府マニラよりは、マニラ麻・コブラ・砂糖・煙草等を輸出す。馬來諸島は近年大いに開け、我が國人のこゝに移住するもの漸く多く、マニラ・パタビヤを始め、重要なる港には我が汽船の定期航路通じて、彼我の貿易も随つて發展す。

第二 大洋洲

位置・成立

大洋洲は亞細亞洲と南北兩亞米利加洲との間にありて、濠太刺利大陸と太平洋上に散布する大小無數の島嶼とより成り、其の大部は赤道の南に位す。本洲は六大洲中最も小さく、又中に一も獨立國なし。

高地一
高地一

地勢

面積・人口

地勢

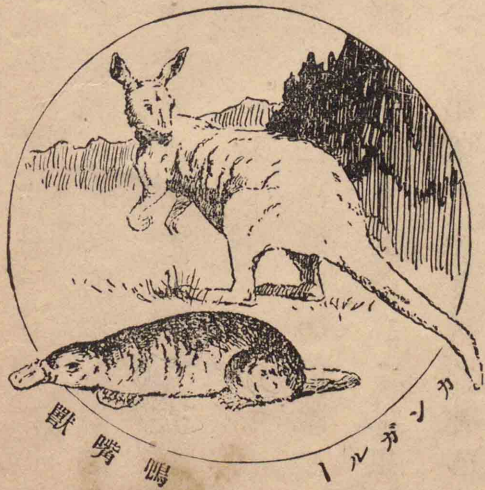
政米
諸島
二層

氣候・産物

一 濠太刺利

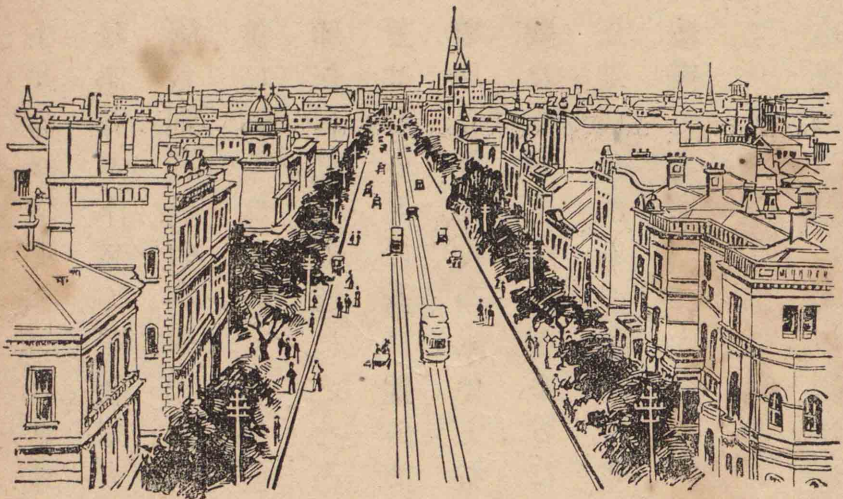
濠太刺利は最小の大陸にして、一に濠洲と稱せらる。其の面積約五十萬方里、人口約五百萬あり。全部英吉利に屬し、住民の大部は英吉利人なり。濠太刺利は地勢概ね高原性にして、内地には波狀の低地少からず。東海岸に沿ひては濠太刺利山脈連り、其の高さは東南部に於て最も大なり。海岸は一般に出入に乏しく、唯東南部の所々に小良灣ありて、こゝにシドニー・メルボルン等良港の發達せるを見るのみ。屬島も少く、タスマニヤ島を其の主なるものとす。濠太刺利山脈以西は、内地に至るに隨ひ概して雨量少くして、草原・鹹湖多く、又廣く沙漠をなせる所さへあるが故に、ク

ールガルチー等の産金地方を除けば、西の大部は産業・交通發達せず、住民も亦稀なり。然れども東部は氣候温和にして、雨量割合に多ければ、小麦・玉蜀黍・甘蔗等の栽培、羊・牛等の牧養に適し、又金・銀・石炭等の産物もありて、交通も都邑も發達し、貿易も随つて盛にして、濠太刺利大陸中の最も重要な部分をなす。此の地方の羊毛・小麦・石炭及び東西兩部の金等の産物はシドニー・メルボルン等の港より多く海外に輸出せらる。中にも金と羊毛とは其の産出額に於て世界屈指の地位にあり。動植物にはカンガル―鴨嘴獸・ユーカリ



高地一

都邑



メルボルン市の街

樹など珍しき固有のものあれども、現今産業上に利用せらるる牛・羊・小麦等は、すべて原種を歐羅巴より移したるものなり。メルボルン・シドニーの二港は濠太刺利の門戸にして、貿易盛に行はれ、又我が國汽船の航路に當る。トールレス海峡に木曜島あり、亦我が國汽船の寄港地にして、こゝより大陸の北岸地方にかけては本邦人の在留して眞珠貝の採取に従事するもの

沿革

少からずメルボルンの西にあるアデレードも大陸の西岸にあるバースも重要な港なり。

濠太刺利は西班牙・和蘭兩國人の始めて探検せしより漸く世に知られ、百三十餘年前より英吉利人は奮つて之が探検・殖民に従事し、遂に之を占領せり。殊に約七十年前、金鑛の發見せらるゝに及び、他の諸洲よりこゝに移住するもの俄に増加し、農業・牧畜も年と共に發達して、現今の如く世界の重要なる一生産地となるに至れり。濠太刺利はもと數箇の殖民地に分れしが、約二十年前、是等殖民地相聯合して聯邦を組織し、現今假に中央政府をメルボルンに置く。

二 本洲の諸島

面積・人口・地勢・氣候

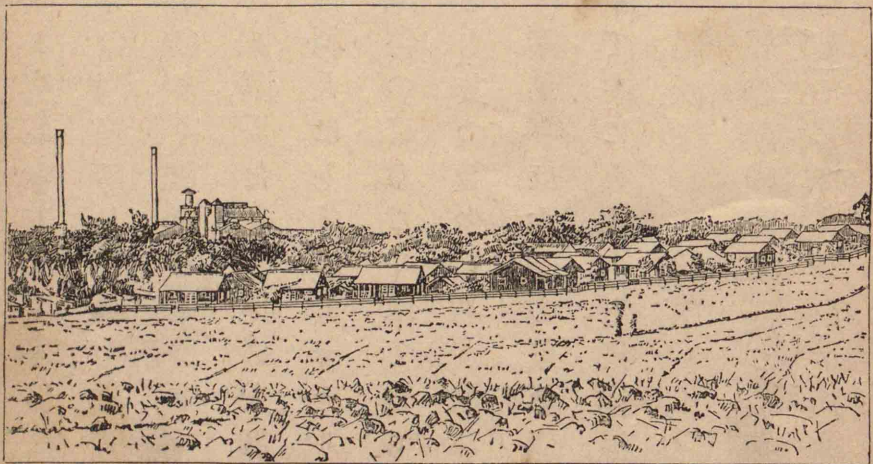
本洲の諸島は其の全面積約八萬餘方里、總人口約三百萬あり

高地一
高地一

ニュージ
ーランド

りて、現今悉くそれ〴〵歐米諸國に屬す。是等の諸島は或は高き火山をなし、或は低き珊瑚礁をなす。其の多くは熱帶中にあり、故に暑氣甚だしからず。諸島の中、主なるものにニュージールランド・パプア(一名ニューギネア)・布哇諸島等あり。

ニュージールランド英領は濠洲の東南海中にありて、南北の二島より成り、島内に火山・温泉多くし



布哇諸島に於ける國人の村落

布哇諸島



布哇諸島に於ける我國人の甘蔗採集

て、風光の美麗なるを以て稱せらる。産業の主なるものは羊牛等の飼養にして、羊毛・凍肉等の輸出多く、首府ウーリントンに主なる門戸たり。住民の大部は英吉利人にして、土人マオリ族は風俗の奇なるを以て知らるれども、其の數少し。

布哇諸島領米は本洲の東北部にありて中に火山多し。氣候温暖、地味肥沃にして、甘蔗・パインアップル等の産額多く、随つて製糖の業盛なり。住民の過半は我が國人にして、其の數十萬餘、多

高地一

高地一

我が南洋委任統治地

くは甘蔗の耕作に従事す。首府ホノルルは太平洋航路の要地にして、我が國汽船の航路に當り、粗糖の輸出多し。

我が南洋委任統治地は、舊獨逸領ミクロネシアの殆ど全部にして、パラウ・カロリン・マーシャルの三諸島とマリヤナ諸島の大部とより成り、島數甚だ多し。是等諸島の多數は、珊瑚礁より成りて、極めて低けれども、火山岩より成れる少數の島は概ね高くして稍大なり。是等諸島は面積小さく、住民も少けれども、其の位置太平洋交通の要地に當り、又各地にコブラを産し、パラウ諸島に燐礦を産するを以て注意せらる。

大正三年以來、我が國は是等の諸島を占領して、主なる島々には航路を通じ、其の他種々開發に努む。世界大戰の結果、我が國は是等諸島の統治を委任せらるゝこととなれり。

第三 歐羅巴洲

一 總論

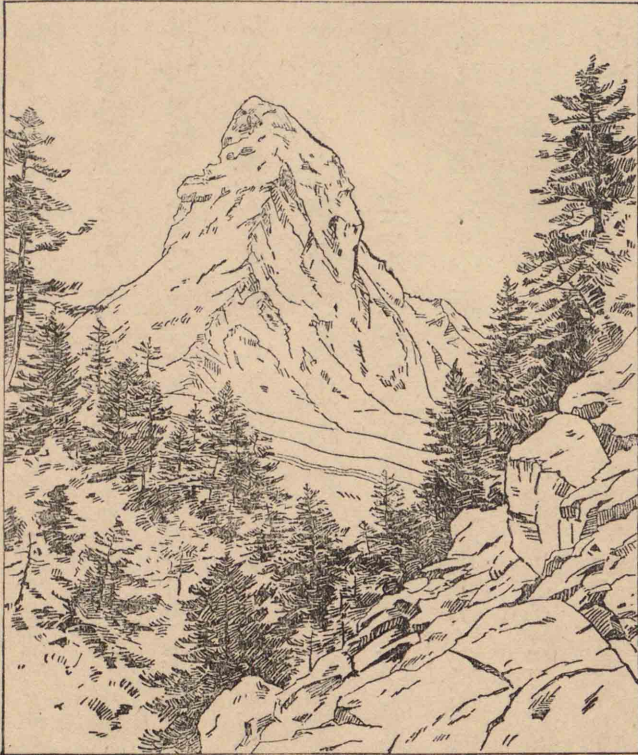
面積

歐羅巴洲は其の面積凡そ六十四萬方里ありて、亞細亞の略、四分の一に當る。

地勢

本洲は海岸線の出入極めて多く、又島嶼に富む。北にはスカンヂナビヤ半島ありてバルチック海を限り、西には英吉利諸島ありて北海と英吉利海峽とを分てり。西南にはイベリヤ半島あり、南には伊太利・バルカンの二半島あり。イベリヤ半島は大西洋と地中海との間に突出し、其の南端は阿弗利加に迫りて地中海の咽喉をなす。伊太利半島は地中海の中部に突出して、バルカン半島と共にアドリヤ海を圍む。バルカ

高地一
高地一



(ノルホータマ) 峰高一の中脈山プルア

ン半島の東南は小亞細亞半島に迫りて地中海と黒海とを分つ。

本洲の西南部より南部にかけては、ピレネー・アルプ等山脈多し、其の最も雄大なるものはアルプ山脈にして、佛蘭西・伊太利・瑞西・奧地

利・ユーゴスラビヤの諸國に亙りて大分水嶺をなし、其中に數多の高峯四時氷雪を戴きて聳ゆ。中にもモンブランは

氣候

高さ凡そ一萬六千尺、本洲第一の高山なり。アルプ山脈の一派は東北に延びてカルパチヤ山脈となり、他の一派は伊太利半島に延びてアペニン山脈となる。又アルプ山脈の支脈にはアドリヤ海の東岸を走るものもあり。本洲の東部より北部にかけては、スカンデナビヤ半島とウラル山脈とを除くの外、概ね平野にして、其の中央部に丘陵地あるに過ぎず。アルプ山脈及び附近の山地より發源する河流には、ダニューブ・ライン・エルベ等あり。ダニューブ河は東の方黒海に入り、ライン・エルベの兩河は北の方北海に注ぐ。東部平野の中央部にある丘陵地より發源するものには、ボルガ河・ドニープル河等あり、主として南流して裏海又は黒海に注ぐ。

本洲の大西洋沿岸と地中海沿岸との地方は、海洋の影響を

高地一

高地一

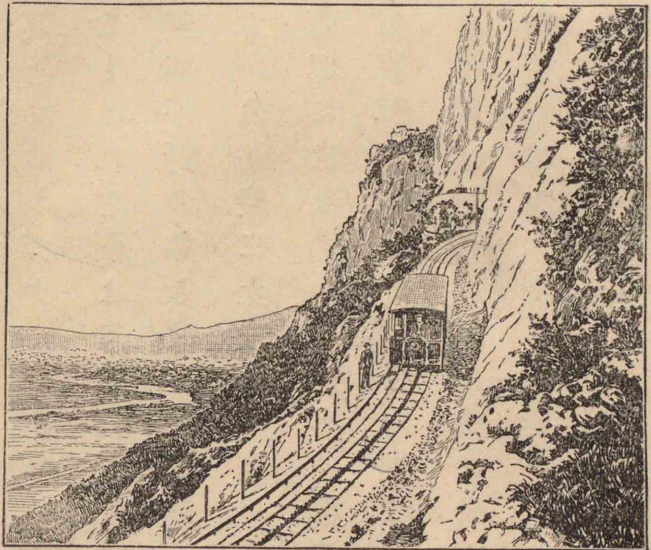
産業

受けて、同緯度の他地方よりも氣候著しく温和なり。緯度の高きスカンデナビヤ半島の西北岸の如きも、冬季凍結の虞なし。されど西より東に至るに隨ひ、寒暑の差一般に増加し、東部平野の如きは、冬季寒氣烈しく、河水悉く凍結す。

本洲は一般に土地よく開けて、中部以東には麥類、麻、甜菜、西南部には葡萄の産出多く、獨逸にては製糖業、佛蘭西にては葡萄酒醸造業發達す。本洲には馬・牛・羊等廣く飼養せられ、其の頭數は特に中部以東の地方に多し。然るに是等の農産物の畜産物は尙本洲の需要を充すに足らずして、他洲より其の供給を仰ぐこと甚だ大なり。されど英佛等の諸國は鐵及び石炭に富み、又内外に原料を得ること便利なるを以て、工業著しく發達し、其の製品を盛に各地に輸出せり。

交通

歐羅巴洲には各種の交通機關著しく發達し、陸には鐵道の敷設普くして、アルプ山脈にも數多の大トンネルを穿ちて



道鐵山登の中脈山ブルア

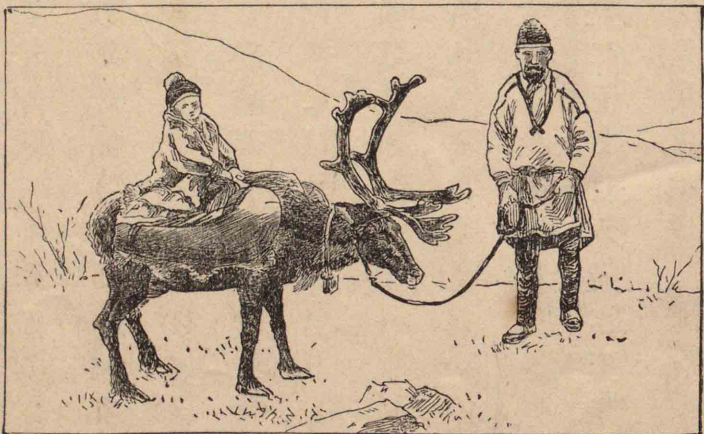
して有名なるもの少からず。

數條の線路を通ず。河川は水量多く、其の流緩かにして、運河によりて連絡せらるゝもの多く、かたゞ交通の便を助くること大なり。海岸又は河川の下流に臨みては良港多くして、汽車の往來、船舶の出入共に繁く、中に世界の大商港と

高地一

住民

本洲は約四億の住民を有し、人口の密度に於ては六大洲中第一に位す。住民の大部は歐羅巴人種に屬し、概ね基督教を信ず。其の中スラブ族は東部、中部に、チュートン族は中部、西部に、ラテン族は西部、南部に多し。歐羅巴人種に次ぐは亞細亞人種にして、主として北部と東南部に住す。東南部に住するものにはマホメト教を信ずるもの少からず。又本洲は教育一般に普及し、中部より西部、南部にかけては學術技藝の研究盛にして、文明著しく進歩せり。



人土の部北極

高地一

區分

本洲には大小數多の獨立國ありて、其の數三十を越え、就中眞に獨立國の體面を保てるもの二十餘國に及ぶ。乃ち東部より北部にかけては露西亞・フィンランド・ポーランド・瑞典・挪威等あり。中部には獨逸・奧地利・洪牙利・チッコ、スロバキヤ・丁抹・和蘭・白耳義・瑞西等あり。西部には英吉利・佛蘭西・西班牙・葡萄牙等あり。又南部には伊太利、東南部にはユーゴスラビヤ・ルーマニヤ・ブルガリヤ・希臘・土耳其等あり。是等の諸國は一として立憲政體ならざるはなし。其中、英吉利・佛蘭西・露西亞・和蘭・白耳義・伊太利等は他洲に廣き領土を有し、殊に英・佛・伊の三國は國勢盛にして、日本及び亞米利加合衆國と共に世界の五大強國と稱せらる。

二 東部歐羅巴(露西亞・フィンランド・ポーランド)

高地一

地勢・産業

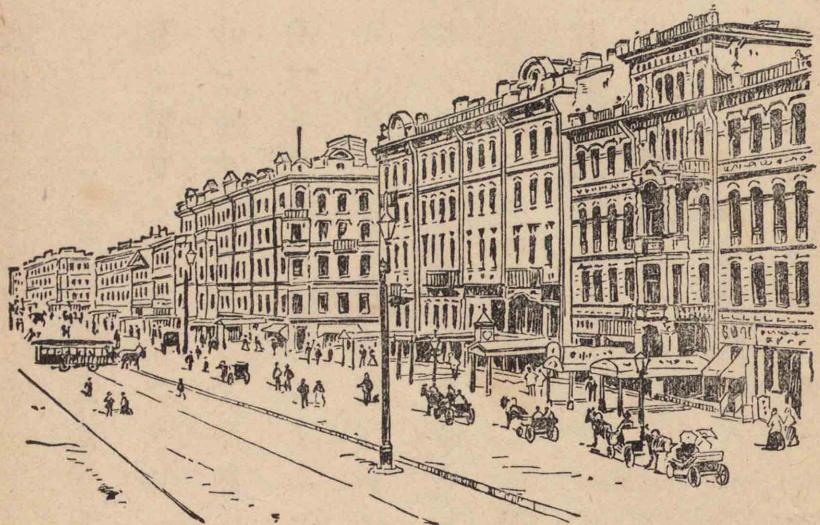
東部歐羅巴はもとの露西亞の領土を指す。其の地勢一般に平坦にして、唯其の中央部に略、東西に互れる低き丘陵地あるのみ。主要なる河川は源を此の丘陵に發し、緩かに平野を流れて、南の方黒海又は裏海に入るもあり、北の方北極海に注ぐもあり。是等の河川は冬季永く結氷して便利なる陸路となり、其の他の季節には水運の便甚だ多くして、域内の主要なる交通路をなせり。北極海に沿へる北部の地方には凍原ありて、地の利少けれども、其の南には森林連りて林産物を産し、更に其の南には農業・牧畜盛に行はれて、麥類・麻・牛・馬等を産すること多し。露西亞が從來歐洲第一の農業國たりしは、此の南部の平野あるが爲なり。又ウラル山脈は貴金屬を産するを以て名高し。

沿革

露西亞は二百餘年前、ペートル大帝出でて、都をモスコイよりペトログラードに移し、内治を改良し、外征に成功せしより、國勢漸く隆盛に赴き、其の後益、領土を四方に擴めたる結果、歐羅巴・亞細亞の二大洲に互りて、廣大なる版圖を有せしが、近時國內分裂し、數多の獨立國起りて、國勢衰ふ。新獨立國の中、主なるものはフィンランド・ポーランド・ウクライナ等なり。フィンランドはスカンディナ비아半島の東に接して、ヘルシングフォールスを首府とす。ポーランドは舊露領の一部の外、獨逸・墺地利の舊領土の一部づゝを併せ、ワルソーを首府とす。露西亞は舊領土の大部を保ち、モスコイを首府とす。ペトログラードはもとの露西亞の首府たりし所にして、バルチック海の一灣に臨み、水陸交通の便備はりて貿易盛に行

都邑

高地一
高地一



ペトログラードの街市

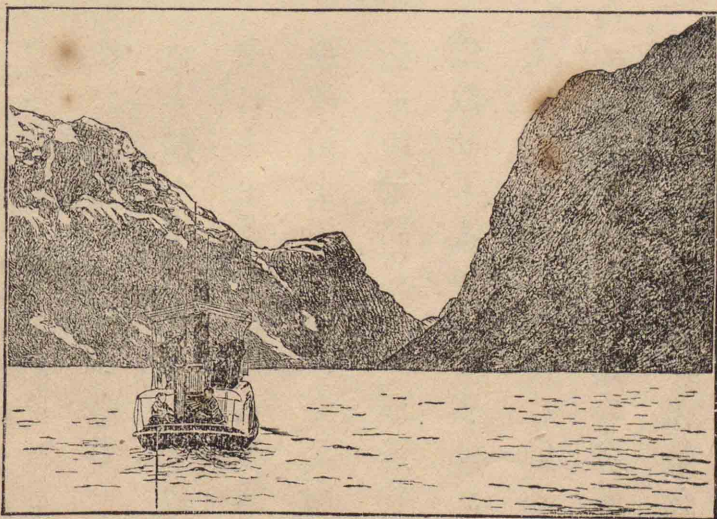
はる。其の西にあるクロンス
タットはバルチック艦隊の根據
地たりしを以て名高し。モス
コーはペトログラードの東
南にあり。此の地は古來露西
亞政治上の要地にして、内地
交通の要路に當り、農産物の
集散せらるゝもの多く、又工
業盛に行はる。黒海に臨める
オデッサは黒海方面の良港に
して、ウクライナの商業・交通
の一中心をなし、麥類を輸出

すること甚だ多し。

三 瑞典・諾威・丁抹

瑞典・諾威

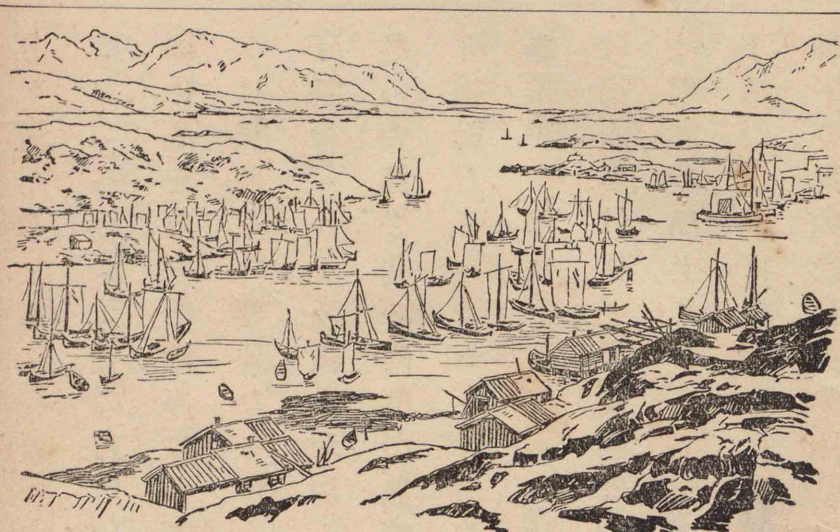
瑞典・諾威の二國は、スカンデ
 ナビヤ半島にありて、半島の
 脊梁をなせるスカンデナビ
 ヤ山脈を界とす。西側なる諾
 威の海岸には山岳直ちに岸
 に迫りて絶壁をなせども、海
 岸線の出入甚だ多きが故に、
 舟泊の要地となれる所少か
 らず。又近海は魚類多くして
 世界有数の漁場となり、ベルゲン其の他を中心地として漁



諾威の峽灣

高地一

高地一



諾威の漁船

業盛に行はる。此の國は農産
 物に乏しけれども、木材を産
 すること少からず。諾威の首
 府はクリスチヤニヤといひ、
 此の國の門戸なり。
 瑞典は諾威に比べて地勢緩
 かにして、交通の便開け、内地
 には木材を産し、海岸の平野
 には農業に適する所あり。又
 所々に鐵鑛を産す。此の鐵鑛
 は從來主として輸出せられ
 しが、近年國內の各地にて水

丁抹

力を利用してこれを製鍊す。随つて其の他の工業も亦漸く盛ならんとす。瑞典の首府はストックホルムといひ、商業・交通の中心をなす。西南岸にあるヘルシングボルグ・ゲーターボルグは交通上の要地なり。

丁抹はバルチック海と北海との間に突出せるユトランド半島の大部と其の附近の島嶼とを占め、スカンヂナビヤ半島と相對してバルチック海の門戸をなす。國內概ね低平にして、農業・牧畜盛に行はれ、バタは主要なる輸出品となる。海岸線は出入多けれども、良港は割合に少し。首府コペンハーゲン

は東部の島上にありて、交通上の要地をなす。

丁抹の領土にはなほ大西洋の北部に位するアイスランド島あり。島内には火山間歇温泉多し。住民は主として牧畜又

高地一

高地一

は漁業に従事す。

四 獨逸

位置・面積・人口

獨逸は歐羅巴の略中央にありて、面積約三萬方里、人口凡そ五千五百萬あり。

沿革

獨逸はもと二十餘の聯邦より成り、聯邦の一なる普魯西の國王其の皇帝を兼ねたりしが、世界大戰の終期に共和政體に改まれり。此の國は從來内には教育・學術・商工業を盛にし、外には廣き領土を占めて、世界強國の一に數へられしが、世界大戰の結果、本國の一部、海外領土の全部を失ひたるを始として、多大の損失を招き、爲に國力大いに衰ふるに至れり。

南部は山脈連亘して高地をなし、所々に地味の肥沃なる所あり。北部は歐羅巴大平原の一部にして、沿海の地は殊に低

地勢

産業

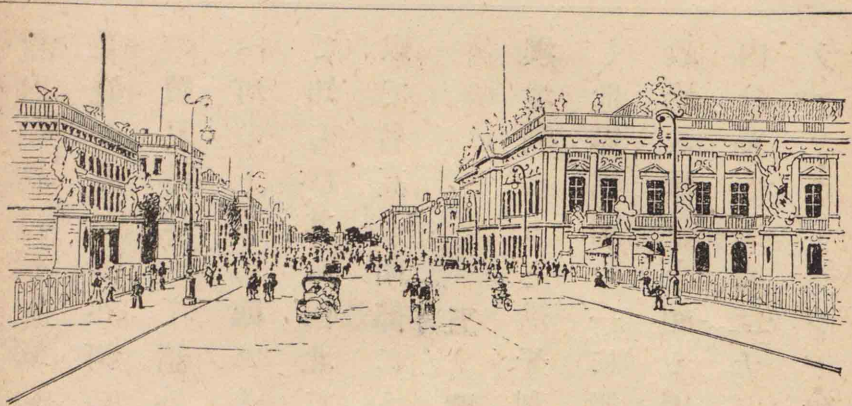
平なれども、沼澤・砂礫多くして、農耕に適せざる所少からず。河川は概ね水量多く、運河によりて互に相通じ、ライン・ダニュープの如きは、北海と黒海とを連絡する重要な水路をなす。又ユトランド半島の頸部にあるキール運河は、バルチック海と北海との連絡交通を助くること甚だ大なり。

獨逸には産業發達して、諸種の産物を出す。農産物中、麥類・馬鈴薯・甜菜等は廣く栽培せられ、随つて砂糖・澱粉・ビール等の製造も盛に行はる。ライン河畔は國內にて、最も温暖なる所にして、特に葡萄の産出に富む。林業は一般に大いに進歩し、林産物は殊に南部の地方に多し。

獨逸は鐵・石炭・岩塩など礦産物に富み、世界大戰前には鐵・石炭の産額にて世界屈指の地位にありき。されば工業も亦隨

高地一

高地一



伯 林 の 市 街

つて盛大を極め、鐵製品・織物・ビール・砂糖・化學工業品等を産すること夥しかりしが、世界大戰の結果、鐵礦産地の大部と石炭産地の一部とを失ひたる上に、十年間年々多額の石炭を賠償として佛・白・伊の諸國に引渡すべきこととなりたるを以て、工業も一大打撃を受くることとなれり。

外國貿易も亦世界大戰の始まると共に俄に衰へ、今や戦前の面目なし。我が國との貿易も戦後尙未だ盛ならず。

都邑

首府伯林は殆ど國の中央に位し、人口凡そ二百萬學術・商工業盛なり。エルベ河の下流に臨めるハンブルグは世界屈指の貿易港にして、諸外國と航路相通じ、船舶繁く出入す。エルベ河の上流に臨めるドレスデンは美術工藝品の産地として知られ、其の西北にあるライプチヒは出版業の盛なるを以て名高し。南部にミンヘンあり、多くビールを醸造す。

五 奧地利・洪牙利・チエッコ・スロバキヤ

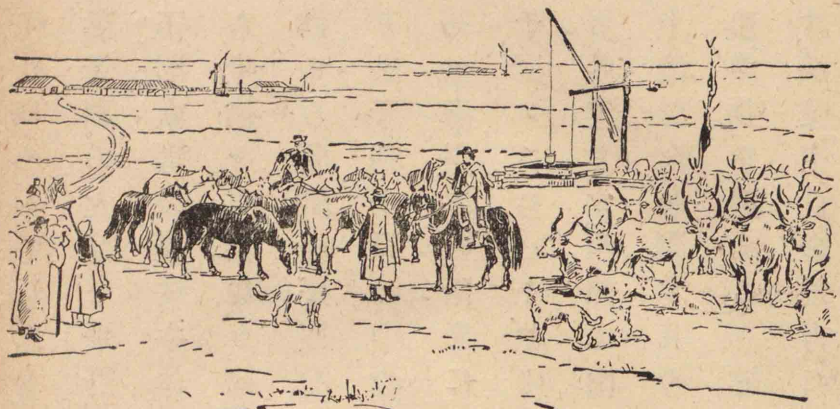
奧地利はもと洪牙利と聯合して奧地利洪牙利帝國を形成し、世界強國の一に數へられしが、國內に數多の民族ありて、政治の統一上、頗る困難なる事情ありき。世界大戰の結果、國內分裂して、或はチエッコ、スロバキヤ國となり、或はユーゴスラビヤ・ポーランド・伊太利・ルーマニヤ等の一部となりたる

沿革

高地一

高地一

奧地利



洪牙利平原の牧場

が故に、奧地利も洪牙利も大いに國土を減じ、又各、分離して國力を弱めたり。奧地利の大部は、アルプ山脈連亘して農業に便ならざれども、ダニエーブ河沿岸の平野には、農業行はれて、多く麥類・馬鈴薯を産す。國內には森林多くして、木材を産し、草地には牧牛行はる。又所々より鐵・石炭等を出す。奧地利の首府維也納はダニエーブ河に沿ひ、市街甚だ壯麗にして、學

洪牙利

チエッコ、スロバキヤ

術・交通の中心をなす。又其の附近の地には、工業漸次盛なり。』
 洪牙利の大部は平野にして、ダニユーブ河の流域に屬し、セレン小麥・
 玉蜀黍等の農耕、牛・羊等の飼養共に盛にして、是等の農産物・
 畜産物を主要なる輸出品となす。住民の多数はマジールと
 稱する亞細亞民族なり。首府ブダペストはダニユーブ河に跨
 り、洪牙利平原の中心市場たり。此の國は内陸國にして、アド
 リヤ海・黒海の沿岸にある外國の港を主なる門戸とす。
 チエッコ、スロバキヤの東部は山地多くして、農業・牧畜を主な
 る産業とす。西部は山脈に圍まれて盆地をなし、エルベ河の
 上流これを潤す。其の地味肥沃にして、穀物・馬鈴薯・甜菜等の
 農産物を産すること多く、林業も亦發達して、多く木材を出
 す。鑛業も此の地方に盛に行はれて、多く鐵・石炭を出し、又水

高地一

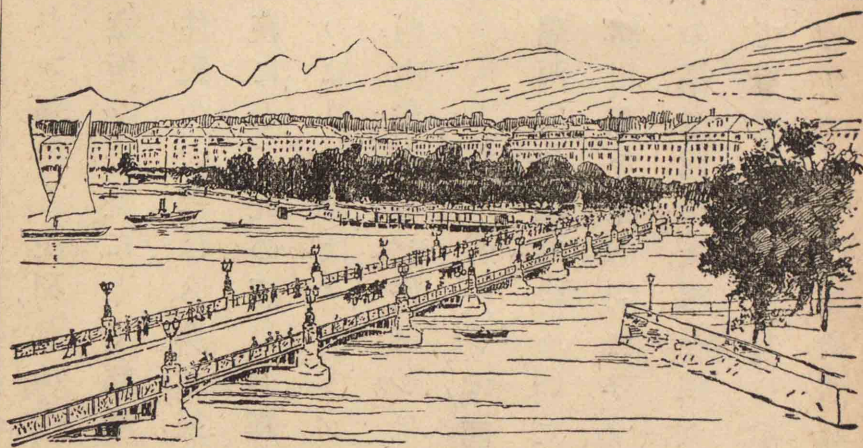
高地一

力の利用も便利なれば、製鐵及び織物・ビール・硝子・陶器の製
 造所々に盛にして、都邑も發達し、交通も便利なり。
 住民の大部はスラブ民族に屬するチエック及びスロバク民
 族にして、此の國の名稱は即ち此の民族の名稱に因めるも
 のなり。首府はブラーグといひ、工業・交通の中心地たり。其の
 西南にあるピルゼンはビールの名産地なり。

六 瑞西

瑞西は佛・獨・墺・伊の間にある小國にして、ライン・ローヌ等の
 諸川源を此の國に發す。國內にはアルプ山脈連亘して、數多
 の高峯四時氷雪を戴きて聳え、谿谷には瀑布懸り、湖水湛へ
 て風景美はしく、實に歐洲の樂園と稱せらる。地勢一般に峻
 しけれども、交通の便備はりて、歐洲の數條の鐵道幹線はア

位置・面積・人口



ルプ山脈を横ぎり、諸名山には登山鐵道の設けあり。地勢水力の用に便なるを以て、工業興り、精巧なる工藝品を出す。農業は盛ならざれども、牧畜は一般に行はれ、バター・チーズ等を産す。首府ベルンは國の西部にあり。東北部にあるチューリヒよりは多く絹織物を産し、西南の方、ジュネーブ湖に臨めるジュネーブにては時計の製造盛なり。

七 佛蘭西

佛蘭西は西部歐羅巴の中央に位

高地一

高地一

地勢・産業

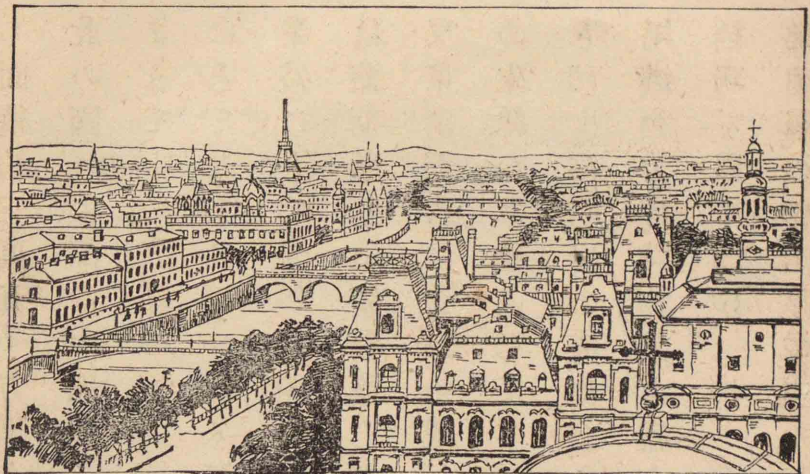
し、面積約三萬五千方里、人口約四千二百萬あり。

此の國の東部は山地多く、殊に其の南部にはアルプ山脈蟠まりて、中に高峯モンブランの聳ゆるあり。西部は概ね平地にして、セーヌ河、ローヌ河之を潤し、地味肥沃なるを以て、農業盛にして、麥類、葡萄等を産すること多く、葡萄の産地にては葡萄酒釀造業發達し、其の製品は盛に海外に輸出せらる。又東南部には養蠶の業行はれ、絹織物業隨つて勃興し、海外の生絲をも輸入して多く絹織物を製す。なほ東北部と中部とには鐵石炭の産出多くして製鐵業發達し、東北部にては毛織物業・綿織物業も盛なり。又此の國の美術工藝品は、殊に精巧を以て聞ゆ。

貿易

佛蘭西の輸出品の主なるものは絹織物・綿織物・葡萄酒等に

都邑



巴里の市街

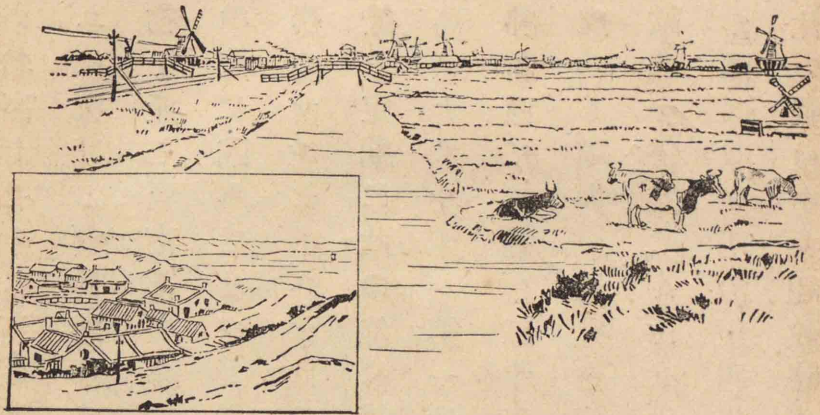
して、輸入品の主なるものは穀物・コークス・機械・綿・化學工業品・銅等なり。其の取引は、英吉利・白耳義等との間に最も盛に行はる。我が國との貿易も漸く盛にして、我が國よりは多く生絲・銅・澱粉・羽二重等を輸入す。首府巴里はセーヌ河に跨りて周圍に城壁を繞らし、人口凡そ二百九十萬を有する大都會にして、市街の壯麗なると美術工藝品の製作盛なるとを以て其

高地一
高地一

沿革

の名高し。セーヌ河の河口に臨めるルアーブルは、マルセイユに次げる貿易港なり。佛・白兩國の國境に近きリールは織物を産し、西南部のボルドーは葡萄酒を輸出す。ローヌ河の中流に臨みてリヨンあり、絹織物業の盛なる所なり。地中海岸のマルセイユは此の國第一の貿易港にして、我が國の汽船も定期に此の地に寄港す。其の東南海中にあるコルシカ島は、ナポレオン第一世の生地として知らる。佛蘭西には約百二十年前、ナポレオン第一世出でて外征に成功し、國內の混亂を鎮めて遂に皇帝の位に登り、次いで全歐洲を併呑せんとせしも、業半にして果さざりき。其の後此の國は我が明治三四年普魯西との戰に敗れて、國力衰へ、又此の戰役中共和政體となれり。爾來教育を盛にし、軍備を擴

位置・面積
人口



和蘭の海岸

和蘭の河運

張して、國勢を挽回し、又海外に領土をも増加して、世界強國の一となり、更に世界大戰の結果、舊獨逸本國の西部及び阿弗利加の舊獨逸領の一部を收め、又西部亞細亞の舊土耳其領の一部に委任統治權を得たる外、各種の利權を得ることとなれり。

八 白耳義和蘭

白耳義和蘭の二國は獨佛英三國の間にある小國にして、其の面積は何れも我が九州より狭けれど

高地一

地勢・交通

産業

も、人口は甚だ稠密なり。是等二國は地勢概ね平坦にして、沿海の地方には海面より低き所多きが故に、砂丘と堤防とによりて海水の侵入を防ぐ。域内に於ては、ライン其の他の河流は數多の運河によりて相通じ、又鐵道は普く敷設せられたるを以て、交通甚だ便利なり。殊に和蘭が水運の便に富めると、白耳義が其の面積に比して鐵道の長きとは、共に比類稀なる所なり。和蘭は農業、牧畜共に發達す。殊に牧畜は最も主なる産業にして、バター、チーズの産多く、其の海外に輸出せらるゝ額少からず。白耳義は鐵石炭の産出に富みて、機械、硝子、織物等の製造盛に行はる。是等二國は何れも商業頗る盛にして、貿易額の多きこと世界屈指の地位にあり。白耳義の鐵板硝子は、從

都邑

來我が國に輸出せらるゝ額少からず。白耳義の首府ブルセルは國の中央に位し、市街華麗にして小巴里の名あり。其の北方にあるアンベルスは著名の貿易港にして、我が國汽船の航路に當る。

和蘭の首府ハーグは西部海岸附近にあり、其の東北には貿易港のアムステルダムあり。何れも運河によりて北海に通ずるの便あり。ライン河の下流に臨めるロテルダムも亦著名の貿易港たり。

沿革

和蘭白耳義の二國は古來相分合すること屢なりしが、約九十年前遂に分離して各獨立王國となり、以て今日に及べり。和蘭は嘗て大いに航海の業を奨励し、海外各地に領土を得、又一時東洋の貿易を其の掌中に收めしことあり。其の後勢

高地一
高地一

力漸く衰へたりと雖も、今なほ馬來諸島等に廣き領土を有す。白耳義は近時阿弗利加に廣き領土を有す。世界大戰中、其の國土の大部を獨逸軍に占領せられたれども、今や之を回復し、更に地を東方に擴め、國力の挽回に努む。

九 英吉利

面積・人口

英吉利は大ブリテン・アイルランドの二大島と數多の島嶼とより成れる島國なり。面積は約二萬方里、人口は約四千六百萬にして、共に我が國に及ばざれども、海外にある領土を合すれば、其の總面積は世界陸地の約五分の一を占め、總人口は約四億に及ぶ。

地勢

英吉利は山地多けれども、大ブリテンの東南部には廣き平野ありて、テムス河其の中を流る。海岸線は出入に富み、河

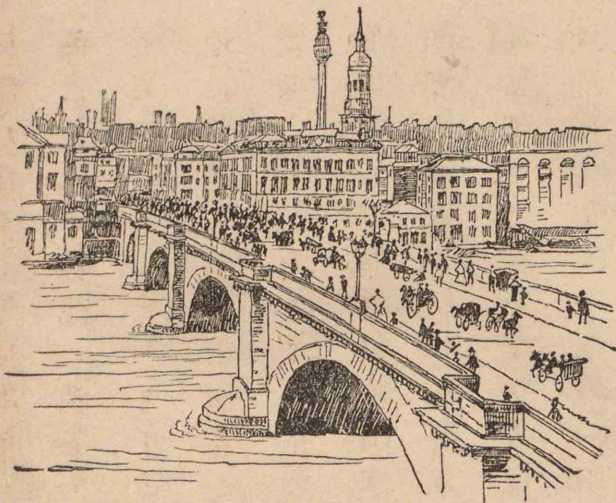
産業

口概ね深くして、良港多し。
 英吉利には各種の産業すべて盛なり。中にも最も盛なるは工業・商業・海運業とす。工業は豊富なる鐵・石炭を利用して各地に發達し、諸種の製品を出す。商業と海運業とは相待つて繁榮し、其の盛なること世界無比にして、商船の噸數も世界總噸數の四割を占む。輸出入の年總額は我が國のものに約五倍す。輸出品の主なるものは綿織物・綿絲・石炭・毛織物・鐵材及び鐵製品等にして、輸入品の主なるものは肉類・石油・綿・麥類其の他の食料品・羊毛等とす。其の取引は亞米利加合衆國・印度・佛蘭西等との間に最も盛なり。此の國は我が國の主要なる取引先にして、我が國へは藥品・毛織物・鐵材及び鐵製品・機械類等を輸出し、我が國よりは絹織物・澱粉・豆類・生絲・銅等を輸入す。

高地一

高地一

都邑



倫敦橋

を輸入す。
 首府倫敦ロンドンはテムス河に跨り、其の人口凡そ四百四十萬、接續市街を合すれば七百萬を超えて、米國の紐育ニューヨークと並び稱せらる。世界最大の都會をなし、世界商業・交通の一大中心たり。此の地は我が横濱より海路凡そ六十日の航程なれども、西比利亞鐵道を利用せば十六七日にて達するを得べし。倫敦の北方にあるケンブリヂ及び西方にあるオックスフォードは有名なる大學の

ある所にして、英吉利海峽に臨めるポーツマスは此の國第一の軍港なり。ポーツマスの西北にあるカーチフは石炭の輸出港として其の名高し。

大ブリテンの西岸にあるリバプールは倫敦に次ぐ貿易港にして、數多の航路によりて北米・南米の諸港と相通じ、盛に綿を輸入し、綿布を輸出す。其の東のマンチェスターは綿布製造の中心地にして、東南方のバーミンガムは鐵工業の盛なる所なり。北部のグラスゴーは造船業の盛なるを以て著れ、エジンバラは學術の一中心地として知らる。

此の國は三百數十年前、西班牙の海軍を破りてより漸く勢力を得、遂に和蘭に代りて海上の權力を握り、かくて世界到る所に領土を占めたり。世界大戰前に於て既に領土の廣き、

沿革

高地一

高地一

海軍の強き、貿易の盛なる、何れも列國の及ばざる所なり。世界大戰の後更に阿弗利加・亞細亞・大洋洲の諸地方に新に特別の利權を得て國力益々發展す。我が國は東部亞細亞及び印度の平和を確保せんが爲に英吉利と攻守同盟を結べり。

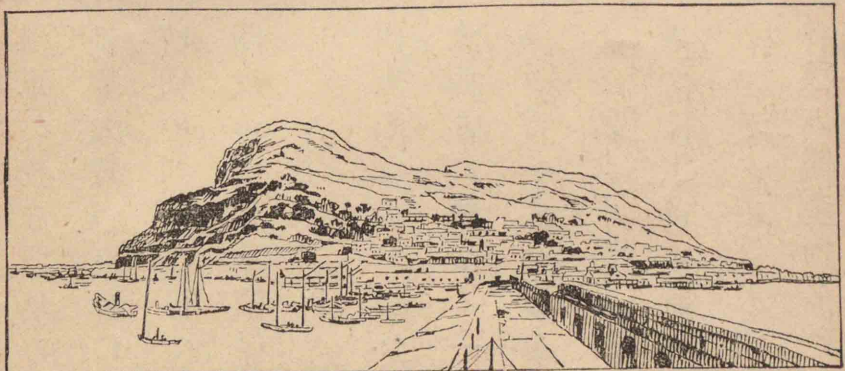
十 西班牙・葡萄牙

西班牙はイベリヤ半島の大部を占め、葡萄牙は此の半島の大西洋に面せる一地方を占む。此の半島内には數多の山脈ありて、一大高原をなし、河川は概ね大西洋に注ぐ。灌漑の便ある所は小麥・玉蜀黍等を産し、沿海の地には葡萄・オリーブ等よく生育す。葡萄酒は此の半島主要の輸出品たり。又高原のコルク・羊等も此の地方の主なる産物なり。此の半島には各種の鑛産物多けれども、交通不便の爲、鐵鑛の外、採掘未だ

位置・地勢・産業

都邑

ジブラルタル



ジブラルタル

盛ならず。鐵鑛は主として西班牙の北部に産し、從來多く海外に輸出せられしが、近時其の産地附近に製鐵業の漸く興るを見る。

西班牙の首府マドリードは此の國の中央に位して交通の要路に當り、葡萄牙の首府リスボンは西海岸にある天然の良灣に臨みて著名の貿易港たり。

ジブラルタル海峽に臨めるジブラルタルは英吉利に屬す。其の位置軍事上重要なるが故に、堅固なる砲臺

高地一

沿革

の設あり。

西班牙及び葡萄牙は夙に航海業を奨勵し、四百年前には海外に廣き領土を有し、其の國人は當時既に我が國にも來航して通商の途を開きたりき。然るに和蘭・英吉利の漸く盛なるに隨ひて國勢次第に衰へ、其の領土も大部之を失へり。

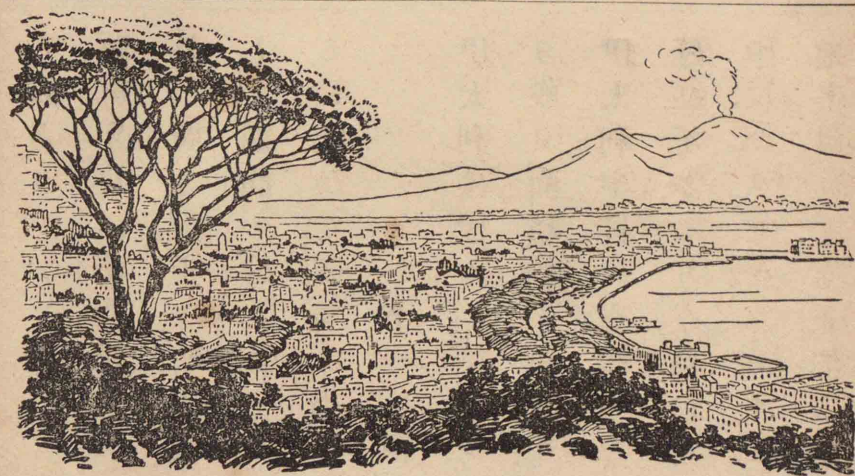
十一 伊太利

位置・面積・人口

伊太利は伊太利半島とシシリヤサルヂニヤの島嶼シチリアなどより成り、面積約一萬九千方里、人口凡そ三千七百萬あり。

地勢・産業

伊太利半島の脊梁スッパをなせるアペニン山脈は、半島より更に延びてシシリヤ島に現る。此の山脈に沿ひて一火山脈通じ、中にベスピヤス・エトナ等の名高き火山あり。半島到る所山地多けれども、北部のアルプ山脈とアペニン山脈との間に



山火スヤビスベと街市のスルプーネ

は稍廣き平野あり。此の平野は氣候温暖、地味肥沃にして、農作養蠶に適し、又工業も盛にして、國中の主なる産業地域をなし、小麥・米・生絲・綿織物・絹織物の産出多し。ミランは其の中心市場たり。其の他の地方にはオリブ・葡萄等を生産し、オリブ油・葡萄酒の製造行はる。又所々より良質の大理石を出し、火山には硫黄を産す。生絲・綿織物・絹織物・葡萄酒等は此の國の主要輸出

高地一

高地一

都邑

品たり。我が國よりは銅・生絲等を輸入す。伊太利人は一般に美術に長じ、繪畫・彫刻等の世界の模範たるもの少からず。首府羅馬は伊太利の中央に位し、昔の羅馬帝國の首府たりし所にして、宏大なる建築物を始め、歴史上の遺物甚だ多し。羅馬の東南ネーブルス灣に臨みてネーブルスあり、灣頭のベスビヤス火山を望みて風景頗る佳なり。北部地中海沿岸にゼノアあり、伊太利第一の貿易港たり。我が國の汽船にもこゝに寄港するものあり。北部アドリヤ海沿岸には西にベニス、東にトリエスト・ポーラ等の良港あり。ベニスは古來重要なる港なり。又トリエストは貿易港として、ポーラは軍港として、何れも從來奧洪國第一たりしが、世界大戰の結果、附近の地方と共に伊太利領となるに至れり。

マルタ

シシリ島の南にマルタ島あり、英吉利に屬し、軍事上の要地として著る。

沿革

伊太利の地は古代羅馬帝國の本國にして、文化夙に開け、其の名史上に著る。現今の伊太利國は凡そ六十年前の建國に係り、爾來國勢發展して、世界強國の一に數へられ、阿弗利加には本國面積の約五倍に當る廣き領土を有す。更に世界大戰の結果、壞地利の西部、南部の一部、西部亞細亞の舊土耳其領諸島の一部を讓受くるなど、一層國力の發展をなせり。

十二 バルカン半島諸國

位置・地勢

バルカン半島は黒海とアドリヤ海との間に突出して、西南部は希臘半島をなし、東南部はダルダネル・ボスポロスの兩海峽を隔てて小亞細亞半島と相對す。バルカン半島の南部

高地一

高地一

區分

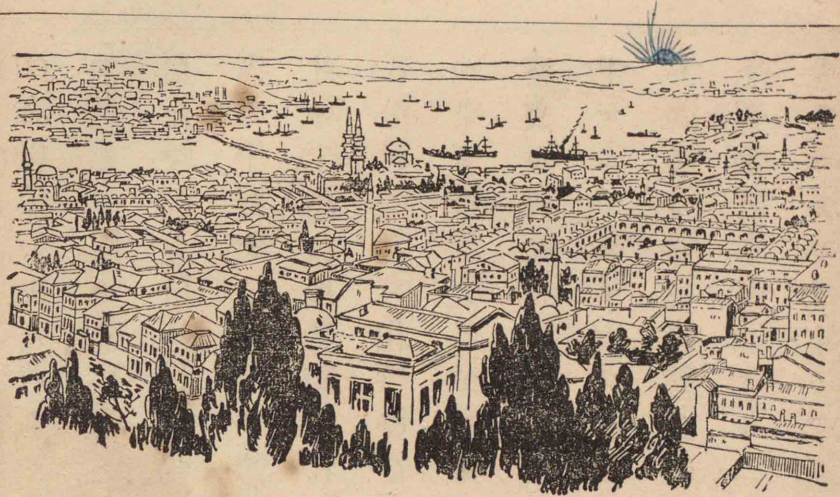
は海岸線の出入著しく、又島嶼に富み、希臘半島と小亞細亞半島との間は多島海と稱せらる。内地には山脈連亘して、山岳丘陵到る所に起伏せるも、北部のダニューブ河流域には稍廣き平野ありて、バルカン半島中主要の農産地となれり。

此の半島は地勢複雑にして、諸種の住民割據し、數多の小國に分れて互に相争ひ、ひいて歐洲禍亂の基をなせしこと少からず。世界大戰の結果、是等諸國は領土増減して、各國勢に盛衰を來せり。而して現今希臘は南部を占め、ブルガリヤ・ルーマニヤ・ユーゴスラビヤ等の諸國は其の北方にあり。

産業

バルカン半島の産業は農業・牧畜を主とす。農産物には小麥・玉蜀黍等あり。ルーマニヤ・ユーゴスラビヤは其の主産地にして、ベルグラードビュイゴスラビアの首府・ブカレストルーマニアの首府等は其の中

都邑



ルブノチンタスノコ

心市場たり。又南部にはばら油・果實・煙草を産す。希臘のサロニカ港は其の主なる輸出港たり。ルーマニヤよりは石油・金等の鑛産物をも出す。土耳其の首府コンスタンチノブルは、ボスポロス海峽に臨みて黒海の關門をなし、又歐亞連絡交通の要地たり。希臘の首府アテネは歴史上殊に有名なる所にして、古代の遺蹟多し。ベルグラード・ブカレスト・ソフィヤ

高地一

高地一

のガリヤ等も、バルカン半島の主なる都會なり。

第四 阿弗利加洲

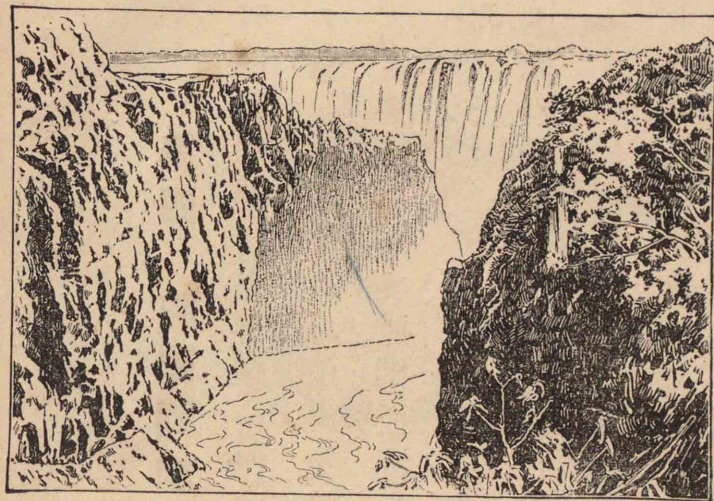
位置・面積

阿弗利加洲は東半球の西南部にありて、大西洋と印度洋との間に位し、北は地中海を隔てて歐羅巴に對し、東北はスエズ地峽によりて亞細亞洲に連る。其の面積凡そ亞細亞の四分の三に當りて、世界第二の大陸をなす。

地勢

本洲の海岸線は出入甚だ少く、又近海は島嶼に乏し。されど印度洋にはマダガスカルと稱する大島あり。本洲は地勢一般に高原狀を呈し、南に高くして北に低く、 Sahara 沙漠一帯の地方には低くして平かなる所多し。山脈は概ね海岸に沿ひて連る。中にも東部の山地には火山脈の通

氣候・産物



布瀑ヤリトクビの河ジベンザ

ずるありて數多の高峯其の中に聳え、地勢最も高峻なり。又此の山地には、大小の湖水南北に並べるありて、ナイル河・コング河等の源をなす。此の他なほ本洲の河川にはオレンジ・ザンベジ・ニゼール等の大河あれども、多くは其の下流に急湍・瀑布ありて、海との連絡不便なるを以て、ナイル河以外は其の大なるに比し運輸の便を助くること少し。本洲は赤道の南北に亙りて大部分熱帯にあるが故に、一

高地一

高地一

般に氣候甚だ暑くして、象・獅子・犀・ジラフ・駝鳥・河馬・鱔等の動物多し。中部には



降雨多くして大森林をなせる所多けれども、これより南又は北に至るに随ひ、雨量次第に減じて、草原又は沙漠をなし、住民少し。殊に北部のサハラ沙漠は其の面積本

住民

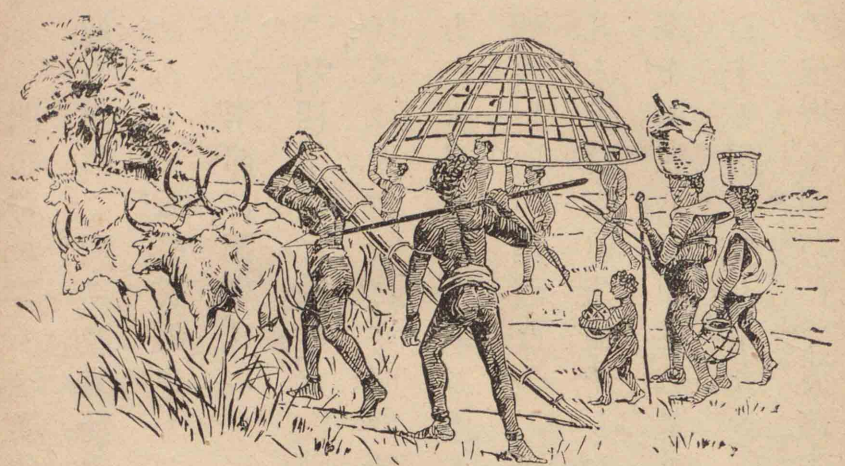
洲の約二割を占め、荒涼寂寞にして、唯オアシスに泉水湧き出でて植物の繁茂せると、少數の住民あるとを見るのみ。隊商は駱駝に乗りオアシスをたどりて、貿易に従事す。其の交通の困難一方ならず。

然れども南北兩部の沿海河畔の地方は、氣候割合に溫和にして、其の土地農業・牧畜に適し、本洲中、開發最も進歩せり。殊に埃及のナイル河畔には綿・煙草等の栽培、南阿弗利加聯邦には牛・羊等の飼養盛なり。此の聯邦には鑛業も發達す。

本洲の住民は總數凡そ一億三千萬ありて、歐羅巴人種に屬するものと、阿弗利加人種に屬するものとあり。阿弗利加人種に屬するものは總數の三分の二を占め、其の皮膚暗黒色なるが故に黒人と稱せらる。多くは中部以南に住し、中に農

高地一

交通



俗風の黑人

業・牧畜に従事するものなきにあらざれども、概ね甚だ未開の状態にあり。歐羅巴人種に屬するものは、舊來主として北部の地方に住せしが、近世歐羅巴より南部其の他海岸の要地にも移住し、殆ど本洲全部の政治・産業等諸般の實權を握れり。

列國は各、其の領土を始めとして本洲の開發に力をつくせるも、本洲の大部は地勢・氣候等の關係により、今なほ交通不便に

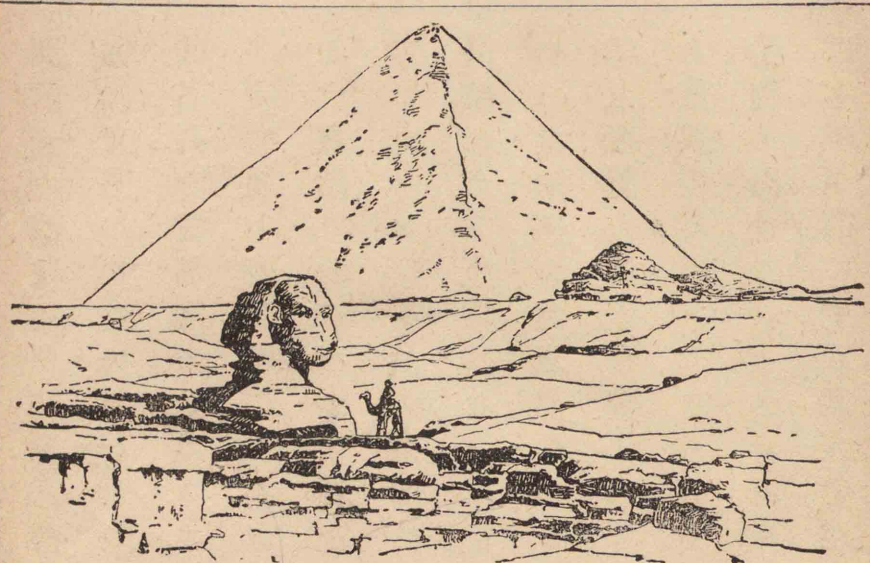
高地一

沿革

して、開拓普からず。唯埃及・南阿、及び其の他沿海・河畔には交通の便漸く開け、産業發達して、都邑多し。又埃及・南阿を聯結せんとせる縦貫鐵道も其の工事大いに進歩せり。海運も南北の兩部に開け、殊にスエズ地峽に通ぜるスエズ運河は、長さ約四十里に及び、東西兩洋間の交通に大なる便利を與ふ。埃及は太古既に文明の域に達し、又其の他の地中海沿岸地方にも早くより歐羅巴人に知られたる所あれども、サハラ沙漠以南の地理は久しく不明のまゝなりき。然るに本洲は凡そ五百年前、葡萄牙人來りて西海岸を探檢し、やがて喜望峯を回航して印度航路を開くに及び、大いに歐羅巴人の注目する所となり、十九世紀に入りては探檢家屢、到りて内部の地理を明かにし、英・佛・獨等の諸國は争ひて本洲の各地を

高地一

埃及



ドミラピ

スクンフス

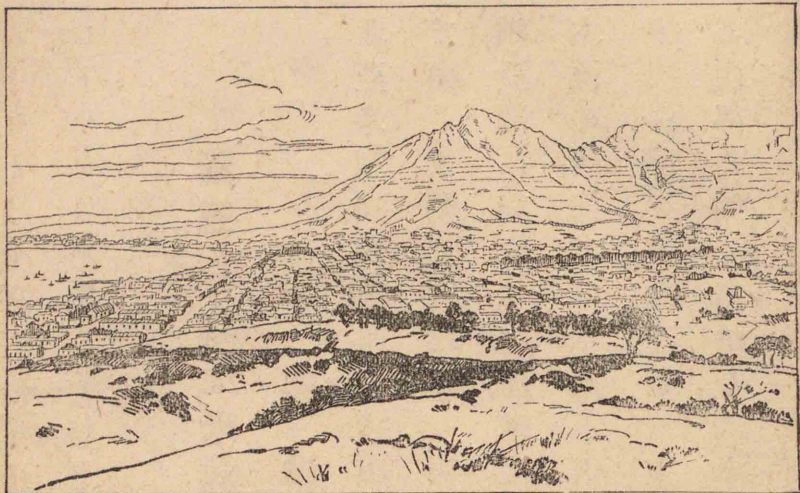
分領せり。されば現今本洲の大部は歐洲諸國の領土となりて、獨立國には僅に二三の小弱國あるのみ。埃及はナイル河の下流地方にありて、英吉利の保護國たり。ナイル河は夏毎に氾濫して、河畔の低地に肥えたる土を残すが故に、肥料を用ひずして多く穀物・綿等を産す。首府カイロは農産物の集散地にして本

アビシニヤ
アルゼリヤ
ヤ・モロッコ
リベリヤ
白耳義領コ
ンゴ

洲第一の都會なり。其の近傍にはピラミッド・スフィンクスなど
古代文明の大遺物多し。地中海に臨めるアレキサンドリヤ
は名高き貿易港にして、スエズ運河の北端なるポートサイ
ドは交通上の要地なり。我が國の歐洲航路の汽船も常にこ
こに寄港し、我が小麥粉等をおろし、彼の地の綿を積込む。
アビシニヤは埃及の東南にある獨立國なり。其の地勢甚だ
高峻にして、産業盛ならず。住民亦開けず。アルゼリヤ及びモ
ロッコは本洲の西北部にありて、地中海に臨む。アルゼリヤ
は土地肥え、農産物豊にして、本洲にある佛蘭西の領土中最
も重要な地たり。モロッコの大部は佛蘭西の保護國にして、畜
産物を出す。モロッコの北海岸は軍事上の要地なり。リベリヤ
は本洲西部に位し、黒人の建てたる獨立國なり。白耳義領コ

高地一
高地一

南阿弗利加
聯邦



ケープタウン

ンゴはコンゴ河流域にありて、
ゴム・象牙等を産す。
南阿弗利加聯邦は、本洲に於け
る英吉利の領土中最も重要な
所にして、南部には羊毛、駝鳥
の羽毛等、北部には金、金剛石等
の産出多し、我が國へは羊毛を
輸出し、我が國よりは綿製品を
輸入す。ケープタウンは此の聯
邦の一大門戸にして、歐洲を始
め諸大陸に航路を通じ、交通・貿
易盛なり。其の東北にあるキン

バーリーは金剛石の産地として知られ、更に東北にあるプレトリヤは北部の産金地方の中心都會なり。

第五 北亞米利加洲

一 總論

位置・面積

北亞米利加洲は西半球の北部にあり。南はパナマ地峽を以て南亞米利加洲に連り、西北はベーリング海峽を隔てて亞細亞洲に對す。其の面積は約百六十萬方里あり。

本洲の西部にはロッキー山脈及び之に並べる數多の山脈ありて一帯の高地をなす。東部にも亦アパラチャ山脈あれども、西部の如く高峻ならず。此の山脈の東なる大西洋岸には稍廣き一帯の平野あり。東西兩山地の間は本洲を縦貫する

地勢

大平原にして、スペリオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オンタリオの五大湖を始め湖沼甚だ多く、又ミシシピの如き大河あり。五大湖の水は相連り、遂にセントローレンス河となりて大西洋に注ぐ。エリー・オンタリオ兩湖の間には名高きナイアガラ瀑布あり。ミシシピ河は源をスペリオル湖の西方に發し、ロッキー山脈より出づるミズーリ河を合せて南に流る。其の長さ凡そ一千七百里、世界第一の長流なり。

太平洋岸の海岸は大いなる出入に乏しけれども、大西洋及び北極海の沿岸は出入著しくして、南に墨西哥灣、北にハドソン灣あり。墨西哥灣の東方には大小數多の島嶼あり、之を西印度諸島といふ。ハドソン灣以北にも島嶼多けれども、寒氣烈しきが故に、住民甚だ稀なり。世界第一の大島たるグリ

氣候

産業

ーンランドの如きも、唯南部の海岸に少數の住民あるに過ぎず。本洲の西北隅、太平洋と北極海との間に挟まれたる所をアラスカ半島と名づく。此の半島と亞細亞とは狭きベールリング海峽を隔つるのみ。

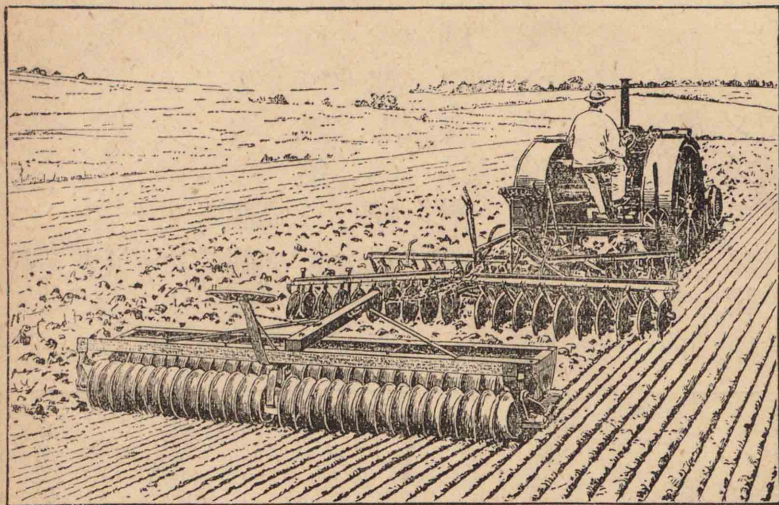
氣候は所によりて一樣ならざれども、一般に西海岸は東海岸よりも暖にして、内地は寒暑の差多し。又西部の高地には雨少くして草地多く、中には沙漠をなせる所あり。

西海岸の山地及び東北部地方には、森林多くして林産物に富み、又野生の獸類少からず。中部の平原中、加奈陀南部以南は土地大いに開けて農業牧畜盛なり。農産物の主要なるは本洲原産の玉蜀黍、煙草、他の大陸より移植せられし小麥、綿等にして、畜産物の主要なるは牛、豚、羊、馬等なり。本洲は六大

高地一

住民

交通



本洲中の平原原に於ける耕地の地なし

洲中、鑛物最も豊富にして、鐵、石炭、石油、銅、金、銀等盛に採掘せられ、工業隨つて發達し、交通貿易も亦發展す。又北部の東西の近海は水産物に富む。

人口は約一億四千萬あり。其の多數は歐羅巴人種にして、其の他は阿弗利加より移されし黑人、及び亞細亞人種、亞米利加インヂャン・エスキモ一等なり。

本洲の東部は水陸共に交通の便に富み、殊に鐵道の發達

沿革

は世界稀に見る所にして、歐羅巴との海上交通も亦甚だ頻繁なり。西部は數條の鐵道によりて東部と相通じ、又亞細亞・大洋洲・南米との海上交通も益盛ならんとす。
本洲は四百餘年前、コロンプスが其の一部を發見せし以來、歐羅巴の諸國人次第に入來りて、多く



ンヤヂンイ加利米亞

高地一
高地一

位置・面積・人口

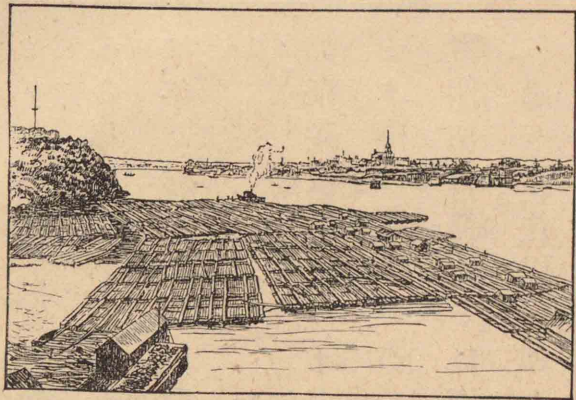
の殖民地を興したりしが、是等の殖民地は其の後概ね本國より離れて、亞米利加合衆國・墨西哥等數多の共和國を形成せり。本洲は開發の餘地多くして、住民少きが故に、今なほ數多の移民は諸外國より渡來す。殊に亞米利加合衆國の如きは、年々移入民の數、數十萬を算す。

二 加奈陀

加奈陀は東のニューファンドランド島と共に英吉利に屬し、殆ど本洲の北半を占む。其の面積凡そ六十二萬餘方里あれども、開拓の進めるは南部一帶の地方なれば、人口は約八百萬に過ぎず。住民は種々あれども、概ね英吉利・佛蘭西より移住せしものの子孫にして、北部には少數のエスキモーあり。北部は寒氣極めて烈しくして、凍原をなせるが故に、産業の

産業

都邑



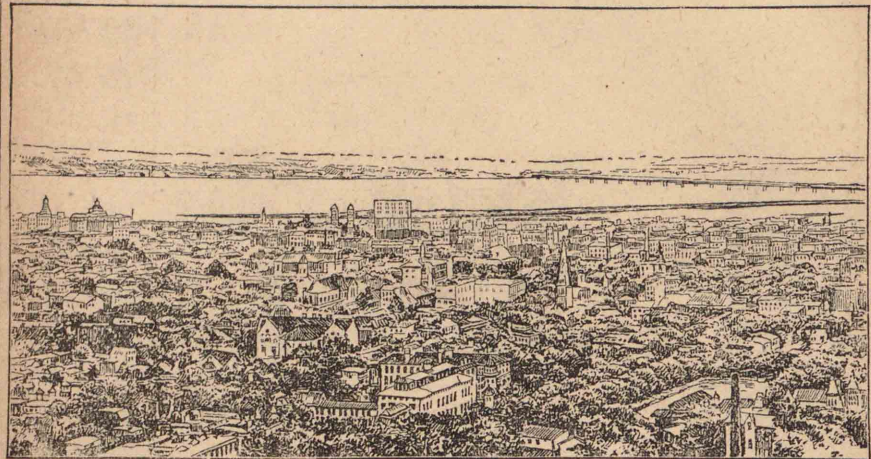
加奈陀東南部に於ける筏

見るべきものなけれども、南部一帯の地方は農業・牧畜盛行はれ、林産物・鑛産物にも富む。されば製粉・製材・製鍊・製紙等の工業、水力を利用して頗る發達し、其の製品は小麦と共に主要輸出品となれり。東西の近海は水産業盛にして、たらにしん等の漁獲高多く、殊にニューファンドランドの近海には淺瀬ありて、魚族こゝに群集するを以て、世界に名高き大漁場となれり。

南部の五大湖沿岸とセントローレンス河の沿岸とは、最も早くより開けて都邑多し。首府オタワはセントローレンス河の支流に臨み、木材の集散盛なり。

高地一

高地一

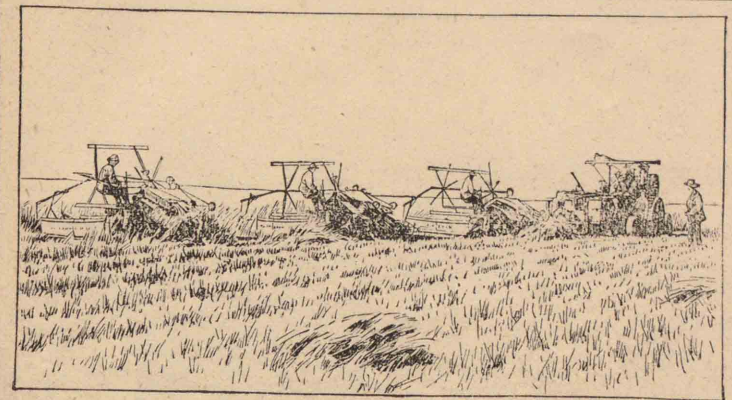


モントリオールとセントローレンス河

其の東方のモントリオールはセントローレンス河中の島上にありて、加奈陀第一の大港市をなし、内外水陸交通の中心地たり。大洋を交通する汽船も自由。此の港に出入す。ハリファクスは大西洋岸の不凍港にして、太平洋岸のバンクーバーと共に加奈陀横斷鐵道の兩端をなす。バンクーバーは太平洋航路の重要なる港にして、我が國の諸港と定期の航路を通じ、我が

位置・面積・人口

産業



本洲の中部平原に於ける小麦の收穫

國よりは絹織物・茶等を輸入し、我が國へはパルプ・木材・鐵を輸出す。バンクーバーの北にプリンスルーパートあり、亦水陸交通の要地なり。

三 亞米利加合衆國

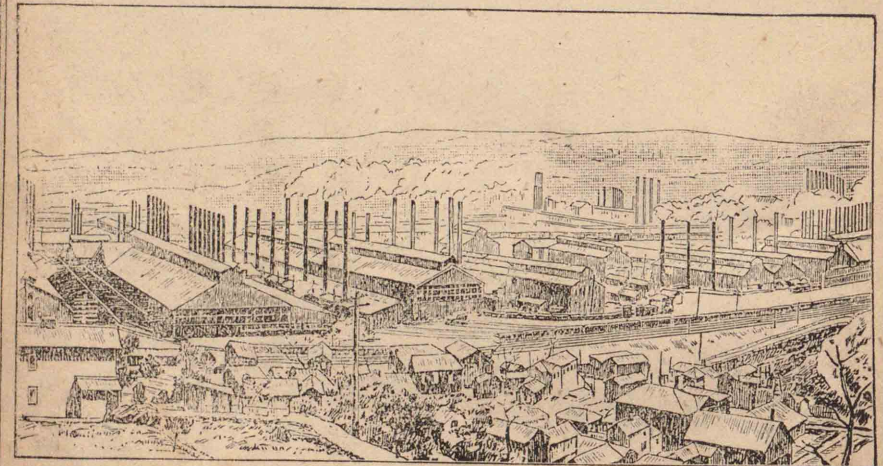
亞米利加合衆國は、大西洋岸より、太平洋岸に亘れる中部一帯の地を占め、なほアラスカ半島・布哇諸島等を領す。面積凡そ六十萬方里、人口凡そ一億數百萬あり。

此の國の中部平原の地方は、農業・牧畜極めて大規模に行はれ、小麦・玉蜀黍・綿・煙草の産額、牛・豚の頭數の多き

高地一

大平原
五大湖
有類
小麦玉蜀黍

こと世界無比にして、殊に小麦・綿は廣く世界の各地に供給せらる。又國內一般に鑛産物に富み、殊にアパラチャ山地と五大湖沿岸の地方とロッキー山脈の地方とには、鐵・石炭・石油・銅・金・銀等の産額甚だ夥し。是等鑛産物の豊富なることは延いて工業の發達を促し、鐵其の他の製鍊綿絲紡績機械の製造、製粉等各種の工業甚だ隆盛をいたせり。外國貿易亦隨つて盛にして、其



ピッツバーグに於ける製鐵所

高地一

都邑

の額の多きこと英國に次ぐ。輸出品の主なるものは鐵鋼及び其の製品、肉類、麥類、綿等にして、輸入品の主なるものは砂糖、羊毛、生絲、藥品類、ゴム、革類等とし、英本國、加奈陀等との貿易最も盛なり。合衆國は我が國の重要なる取引先にして、鐵材及び鐵製品、綿機械、藥品、石油等を我が國に輸出し、生絲、豆類、植物性油、羽二重、茶等を我が國より輸入す。

大西洋岸の平野は國內にて最もよく開けたる所にして、繁盛なる都會多し。其の最も大なるを紐育とす。紐育は人口凡そ五百餘萬、倫敦と並び稱せらるゝ世界の都會にして、歐米諸國の港と航路相通じて工業、貿易盛に行はる。其の東北にあるボストンは主要の貿易港にして、又學藝の盛なる所なり。更に其の東北にあるポーツマスは日露講和條約の締

高地一

高地一



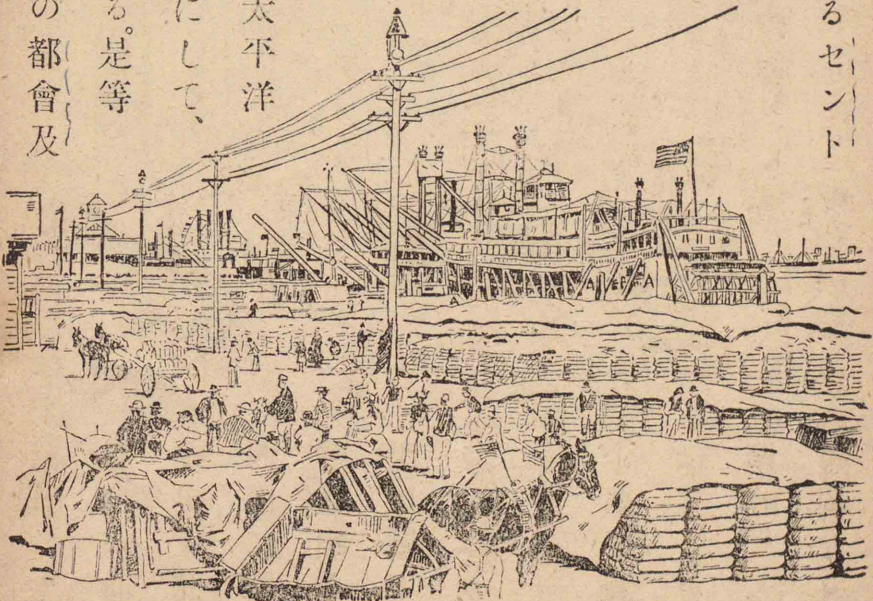
紐育の市の街

結地たり。紐育の西南にあるフィラデルフィヤは工業盛にして、

ゴあり、此の國第二の都會にして、穀物、肉類の大市場なり。ミ

多く石油を輸出す。其の西南に首府華盛頓あり、西に鐵工業地のピッツバ―グあり。中部平原にはミシガン湖畔にシカ

シシビ河の中流に臨めるセントルイスは、中部の主なる一市場にして、下流に臨めるニューオルリヤンスは綿の輸出多し。太平洋岸にはシャトル・サンフランシスコ(桑港)・ロスアンゼルス等の港市あり。何れも大陸横斷鐵道と太平洋航路との主なる接續地にして、我が國汽船の航路に當る。是等の港市を始め太平洋岸の都會及



出輸の綿のシヤトル・サンフランシスコ

高地一

沿革

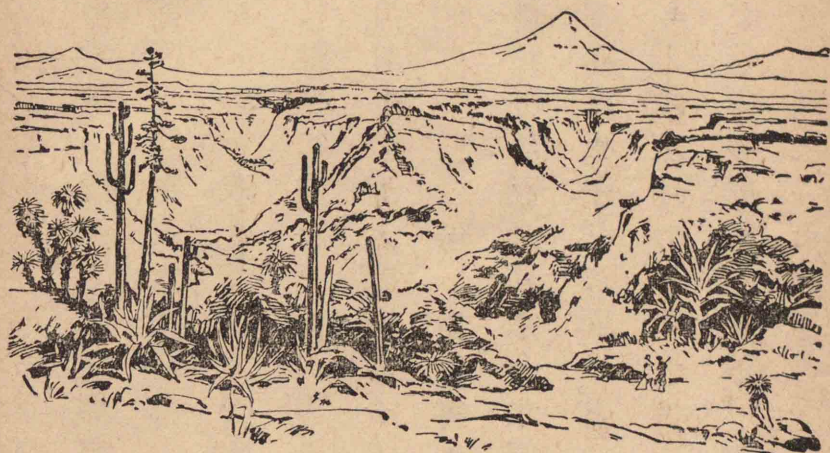
其の附近には我が國人の在留するもの甚だ多し。合衆國の地はもと歐羅巴諸國に分ち領せられしが、今より百四十餘年前、大西洋岸なる英國殖民地の住民協同し、ワシントン^{ワシントン}を戴きて獨立を圖り、共和國を建てし以來、國勢次第に隆盛に向ひて、遂に現今の如き廣大富強なる國家を形成し、世界の五大強國の一として雄飛するに至れり。

四 墨西哥・中央亞米利加諸國・西印度諸島

墨西哥は亞米利加合衆國の西南に接し、東は墨西哥灣に臨み、西は太平洋に面す。其の面積約十三萬方里あり。此の國はもと西班牙の領土たりし所にして、住民は西班牙人・土人及び其等の雜種より成り、總數凡そ一千六百萬に及ぶ。此の國は一大高原にして、海岸に狹き平野あり。南部は熱帶

墨西哥

中央亞米利加諸國



墨西哥高原

に入るを以て、海岸の平地は一般に炎熱甚だしけれども、内地の高原は氣候概ね温和なるが故に、住民の多くは此の高原に住居す。首府墨西哥の如きは海面上七千尺の高所にあり。住民の生業は鑛業及び農業を主とし、石油・銀の産出甚だ多し。東南部にテワンテペク地峽あり、東西兩洋を連絡する鐵道の通ずるありて、交通上の要地をなす。中央亞米利加は墨西哥の東南

高地一

高地一

に連れる細長き地方にして、面積凡そ墨西哥の四分の一に當る。此の地方は嘗て西班牙の領土なりしが、今は六小共和國と英吉利の領土とに分る。其の中パナマ共和國は有名なパナマ地峽のある所にして、此の地峽を横斷するパナマ運河の開通せられてより、益、重要な地位を占む。

西印度諸島

西印度諸島は墨西哥灣口より東南に連りて、南北兩亞米利加大陸との間にカリブ海を抱く。此の諸島はもと西班牙の領土なりしが、キュバ島は近年獨立して共和國となり、其の他は概ね英・佛・米等の諸國に屬す。

キュバ島は此の諸島中最も大にして、又其の土地よく開けて、多く砂糖・煙草を産す。

位置・面積

南亞米利加洲は北亞米利加洲の南に連りて、大西洋と太平洋との間にあり。其の面積は北亞米利加洲より稍やや小さくして、約百二十萬方里あり。

地勢

本洲は地勢上、東・西・中の三部に分る。西部にはアンデス山脈太平洋岸に沿ひて南北に連り、東部にも一帯の山地ありて、其の間にある中部は大平原をなす。アマゾン・ラプラタ等の大河は、此の平原を流れて大西洋に入る。其の流緩リウエンにして交通に適すれども、其の利用なほ未だ盛ならず。

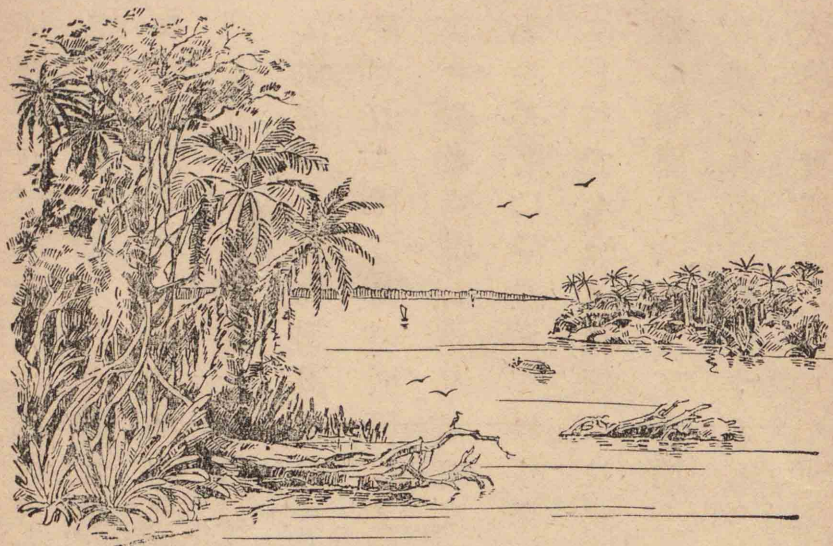
氣候・産業

本洲は大部分熱帯中にあるを以て、一般に氣温高く、又雨多くして植物よく生育し、殊にアマゾン河の流域には大森林

高地一

高地一

住民



アマゾン河の畔の森林

あり。本洲は珈琲・カカオ・ゴム等を産すること多く、又南部には羊・牛等盛に飼養せられ、西部の高原にはリマ・アルパカ等飼養せらる。西部の地方は銀・硝石等に富めり。住民は其の總數凡そ六千萬ありて、本洲の面積に比すれば甚だ少し。住民の主なるものは、古く西班牙・葡萄牙より移住せし白人の

沿革

子孫及び近時歐米諸國より移住したる白人と土人とにし
 て、又黒人も其の數少からず。
 本洲は百年前までは大抵西班牙・葡萄牙兩國の領土なりし
 が、後殆ど全部の地は獨立して數多の共和國を建つるに至
 れり。是等の諸共和國は概ね交通不便にして、未開の地も亦
 甚だ多ければ、其の開發は文明諸國の大いに注目する所と
 なり、歐米諸國より渡來する移民は年々其の數を増し、産業
 交通次第に發達す。されば今や智利・亞爾然丁・伯刺西爾を始
 めとして本洲の諸國には、諸種の産業漸次勃興し、鐵道も次
 第に開通し、河川も亦交通上の利用盛ならんとす。我が國人
 も近時本洲に移住するもの漸く増加し、彼我の交通・貿易も
 次第に發展す。

高地一

哥倫比亞
ベネズエ
ラ・ギヤナ



珈 琲 の 採 取

哥倫比亞は本洲の
 西北隅を占め、農業・
 牧畜・鑛業等近時漸
 く盛に行はる。首府
 ボゴタは海面上八
 千六百尺の高地に
 位す。ベネズエラは
 哥倫比亞の東にあ
 り。ギヤナは更にベ
 ネズエラの東南に
 接する地方にして、
 英・蘭・佛の三國之を

高地一

伯刺西爾

パラグアイ
ウルグアイ

分ち領す。

伯刺西爾は本洲中の最大國にして、其の面積五十五萬方里、人口凡そ三千萬あり。此の國の西北部たるアマゾン河の流域は暑さ烈しくして、雨多く、到る處に森林ありて、ゴムを産すれども、住民甚だ稀なり。されど東南部は氣候溫和にして、土地よく開け、珈琲・砂糖・カカオ等を産すること多し。殊に珈琲は其の産額世界第一に位す。サンパウロは珈琲産地の中心市場として著れ、サントス港は珈琲の輸出多きを以て知らる。首府リオデジャネーロは此の國の大門戸にして、歐洲北米の諸港と航路相通ず。此の國の東南部には、近時我が國人の移住して珈琲の栽培に従事するもの少からず。パラグアイ・ウルグアイの二國は伯刺西爾の西南に接する小國

高地一

亞爾然丁

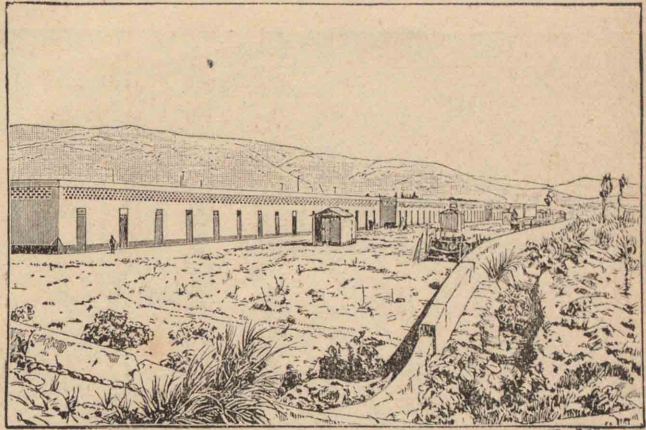


亞爾然丁の製革場

にして、牧畜盛に行はる。ウルグアイの首府モンテビデオは大西洋岸の良港なり。

亞爾然丁は本洲の大西洋岸の南部を占め、アンデス山脈によりて智利と境す。氣候概ね溫和にして、平野遠く連り、農業・牧畜の盛なること本洲第一に位し、小麥・羊毛等の輸出甚だ多し。首府ブエノスアイレスはラプラタ河の河口に臨み、本洲第一の大都會にして、貿易甚だ盛なり。本洲の

智利



秘露に在る國人の村落

横斷鐵道は此の地に起り、アンデス山脈を横ぎりて太平洋岸に達す。此の國は我が國より綿織物・綿絲・絹織物等を輸入し、我が國へは羊毛を輸出す。

智利は太平洋に面せる細長き國にして、硝石・銅等の鑛産物に富み、又其の中部よりは農産物を出す。中にも硝石は此の國第一の輸出品にして各國へ輸送せらる。其の我が國に來る額亦少からず。首府はサンチャゴといふ。其の西北のバルパライソは太平洋岸の良港にして、本洲の横斷鐵道の西端に當る。又我が

高地一

高地一

ポリビヤ・秘露・エクアドル

國の汽船もこゝに定期航路を通ず。

ポリビヤは智利の東北内地に位し、秘露・エクアドルの二國は相並びて太平洋に臨む。秘露は多く銀を産し、ポリビヤは錫を産す。秘露の首府はリマといひ、エクアドルの首府はキトーといふ。キトーは赤道附近にあれども、海面上九千餘尺の高地に位せるを以て氣候温和なり。カイヤオは秘露の門戸にして我が國汽船の航路に當る。

高等小學地理書 卷一 兒童用終

大正九年十一月廿二日印刷
大正九年十一月廿五日發行
大正九年十二月十日翻刻
大正十年一月廿五日翻刻發行

高等小學地理書卷一
大正十一年度
臨時定價金拾七錢

著作權所有

著作兼
發行者

文
部
省

大正九年十二月十七日
文部省檢査濟

翻刻發行
兼印刷者

大阪書籍株式會社

代表者 三木佐助

印刷所

大阪書籍株式會社

大阪市日本橋區新右衛門町十六番地

發賣所

株式會社
國定教科書共同販賣所

he.hora

hatut

51K

51UK

he
na

hat
hary

高一

$$\begin{array}{r} 15 \\ 4 \overline{) 64} \\ \underline{4} \\ 24 \\ \underline{20} \\ 4 \\ 40 \\ \underline{40} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 15 \\ 4 \overline{) 64} \\ \underline{4} \\ 24 \\ \underline{20} \\ 4 \\ 40 \\ \underline{40} \\ 0 \end{array}$$

落本末義

広島大学図書

2000015390

